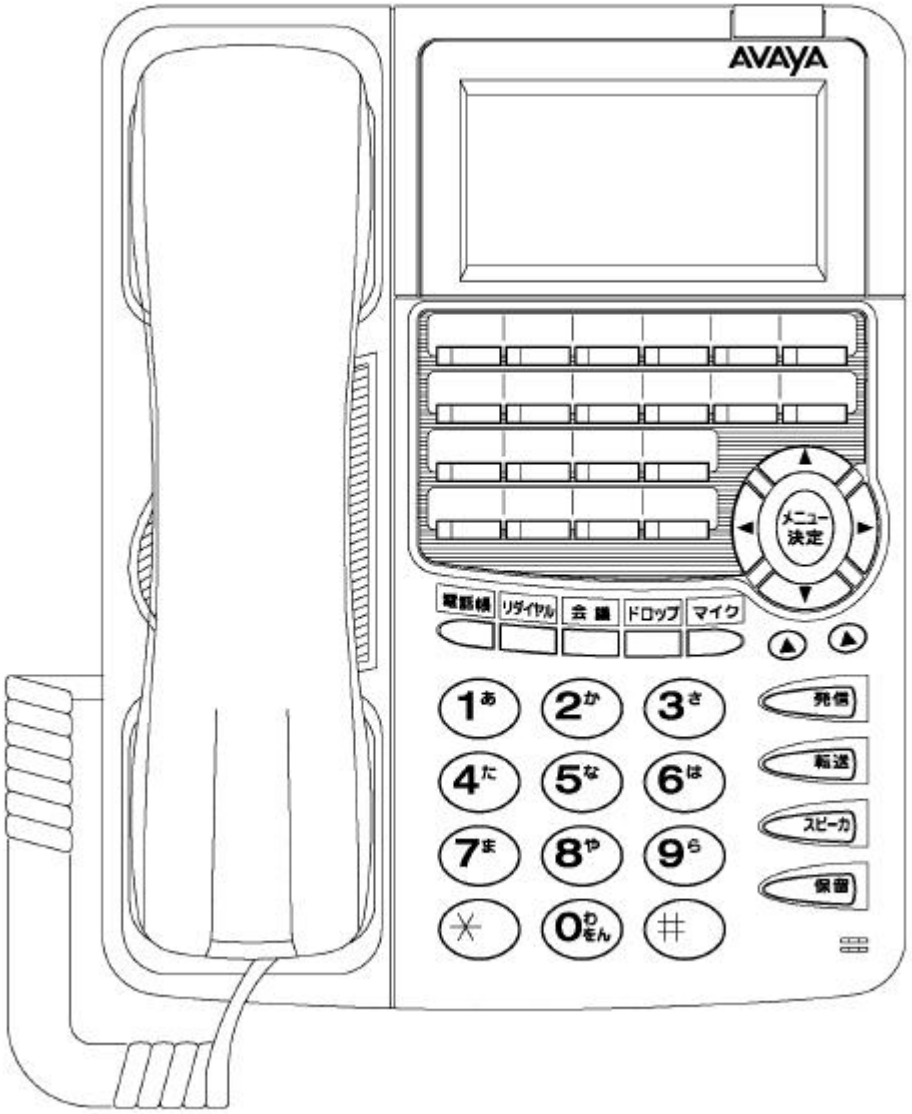
ＳＩＰビジネスフォン

ＳＰ－１０２０Ａ

取扱説明書



Comcode: 700366305
Issue 1.0, June 2005

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

ご使用上の注意

このたびは、ＳＩＰビジネスフォン「ＳＰ－１０２０Ａ」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

・ ご使用になる前によくお読みになり間違いのない操作をしてください。

この『ご使用上の注意』には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、まもっていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本文中のマークの説明

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

■免責事項について

- 地震および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本商品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記憶内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断、通信機会の喪失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◆ご使用の際は、取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
◆本製品は、日本国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This equipment is designed for in Japan only and cannot be used in any other country.
◆本製品を分解したり改造することは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
◆本書の内容につきましては、万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、販売店にお申しつけください。
◆取扱説明書の内容、外観については将来予告なしに変更することがあります。
◆本製品および本書の内容の一部または全部を無断転載、無断複写することは禁止されています。

※本文中における記載の会社名と商品およびロゴは、それぞれ各社の商標または登録商標です。

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

安全上のご注意

⚠ 警告

◆分解・改造・修理しないでください
火災・感電・故障の原因となります。
電話機の改造は法令違反になります。故障のときは販売店に修理をご依頼ください。

◆傾いた台の上や、振動、衝撃の多いところに置かないでください
落下・転倒し、けがの原因となります。落下・転倒により破損したときは、ACアダプタをコンセントから抜いて、（LAN給電の場合は、電話機からLANケーブルを抜き、その後HUB側のLANケーブルも必ず抜いて、）販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
注意：HUB側のLANケーブルも必ず抜いてください。火災・感電・その他の故障の原因となります。

◆雷が激しいときは、ＡＣアダプタ、LANケーブルに触れないでください
感電の原因となります。

◆電話機の開口部から金属類を入れないでください
万一、金属類が電話機の内部に入ったときは、まずACアダプタをコンセントから抜いて、（LAN給電の場合は、電話機からLANケーブルを抜き、その後HUB側のLANケーブルも必ず抜いて、）販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
注意：HUB側のLANケーブルも必ず抜いてください。火災・感電・その他の故障の原因となります。

◆そばに＜花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品等＞液体の入った容器を置かないでください
液体がこぼれて内部に入ると、火災・感電・故障の原因となります。また、万一液体が電話機の内部に入ったときは、まずACアダプタをコンセントから抜いて、（LAN給電の場合は、電話機からLANケーブルを抜き、その後HUB側のLANケーブルも必ず抜いて、）販売店にご連絡ください。
注意：HUB側のLANケーブルも必ず抜いてください。火災・感電・その他の故障の原因となります。

◆万一、煙が出ている、異常音がする、へんな臭いがする、熱くなっているなどの異常状態が発生した場合は、そのまま使用しないでください
すぐにACアダプタをコンセントから抜いて、（LAN給電の場合は、電話機からLANケーブルを抜き、その後HUB側のLANケーブルも必ず抜いて、）煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
なお、お客様による修理は危険ですからおやめください。
注意：HUB側のLANケーブルも必ず抜いてください。火災・感電・その他の故障の原因となります。

◆一般のゴミとして放置しないでください
火災・けがの原因となります。廃棄するときは、販売店にご相談ください。

◆ACアダプタはAC100V以外の商用電源では、絶対に使用しないでください
火災・感電・故障の原因となります。

◆ACアダプタコード、LANケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりしないでください
ACアダプタコード、LANケーブルが破損し、火災・感電の原因となります。ACアダプタコード、LANケーブルが傷んだら、販売店に交換をご依頼ください。

◆ぬれた手でACアダプタ、LANケーブルを抜き差ししないでください
感電の原因となります。

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

安全上のご注意

⚠ 警告

◆テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください
火災・過熱の原因となります。

◆ACアダプタは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。
また、半年から1年に1回は、ACアダプタをコンセントから抜いて点検・掃除をしてください
埃により火災の原因となります。

◆LAN給電の場合、LANケーブルのモジュラジャックは、ほこりが付着していないことを確認してからローゼットに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、LANケーブルのモジュラジャックはローゼットから抜いて点検・掃除をしてください
埃により火災の原因となります。

◆ACアダプタは、必ず専用のものを使用し、それ以外のものは絶対に使用しないでください
火災・感電・故障の原因となります。

◆ACアダプタコードまたはLANケーブルが傷んだ（芯線の露出、断線など）状態のまま使用しないでください
火災・感電の原因となります。すぐにACアダプタまたはLANケーブルを抜いて、（LAN給電の場合、電話機からLANケーブルを抜き、その後HUB側のLANケーブルも必ず抜いて）販売店に交換をご依頼ください。
注意：HUB側のLANケーブルも必ず抜いてください。火災・感電・その他の故障の原因となります。

◆ACアダプタのプラグはコンセントに確実に差し込んでください
ACアダプタのプラグの刃は金属などが触れると火災・感電の原因となります。

お使いになる前に（設置環境）

⚠ 注意

◆電話機を壁掛けに変更するときは、販売店にご相談ください
電話機の重みに耐える専用壁掛け金具を使用して適正な取り付けが必要です。

◆直射日光の当たるところや、暖房設備・ボイラー・熱器具などの近くに置かないでください
内部の温度が上がり、火災の原因となります。

◆調理台のそばなど油煙や湯気が当たるような場所、埃が多い場所に置かないでください
火災・感電・故障の原因となります。

◆風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください
火災・感電・故障の原因となります。

◆電話機の開口部をふさがないでください
開口部をふさぐと、内部の熱が上昇し、火災の原因となります。

◆ACアダプタをコンセントから抜くときは、必ずACアダプタ本体を持って抜いてください
ACアダプタコードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。

◆本製品やACアダプタコードを熱器具に近づけないでください
本製品やACアダプタコードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となります。

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

安全上のご注意

取り扱いについて

お願い

◆ぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください
本製品の変色や変形の原因となります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

◆落としたり、強い衝撃を与えないでください
故障の原因となります。

お使いになるとき

お願い

◆故障の原因となりますので、次のような場所への設置は避けてください。
・製氷倉庫など特に温度が下がる場所。
・塵・埃・鉄粉・有毒ガスなどが発生する場所。

◆電気製品・AV機器など磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気コタツ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話できなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
・放送局、無線局などが近く、雑音が大きいときは本製品の設置場所を移動してみてください。

◆硫化水素が発生する場所（温泉地）などでは、本製品の寿命が短くなることがあります。

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

目次

１．　本装置について

１．１　装置の確認…… ９

１．２　装置の概要……１０

１．３　機能の概要……１１

１．４　使用要件……１２

２．　各部の名称と働き

２．１　装置の外観……１４

２．２　表示の説明

２．２．１　ランプ位置とランプの表示……１６

２．２．２　液晶表示の見方……１８

３．　セットアップ

３．１　装置の接続

３．１．１　ＡＣアダプタを使用する場合……２４

３．１．２　給電ＨＵＢを使用する場合……２６

３．１．３　電話機の取り付け角度を変える……２７

３．２　本装置のセットアップ

３．２．１　お使いになる前のデータ設定

３．２．１．１　ネットワーク設定……２８

３．２．１．２　ＶＬＡＮ設定……３７

３．２．１．３　ワンタッチ設定……４０

３．２．１．４　鳴動設定……４２

３．２．２　音量調節とＬＣＤコントラスト調整

３．２．２．１　音量調節

（着信音量／受話音量／スピーカ音量／着信音質）……４４

３．２．２．２　ＬＣＤコントラスト調整……４８

３．２．３　出荷時設定に戻す方法……４９

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

目次

３．３　電話機の使用方法

３．３．１　電話のかけ方

３．３．１．１　通常発信（オフフックダイヤル）……５１

３．３．１．２　スピーカホン発信（オンフックダイヤル）……５２

３．３．１．３　ワンタッチ発信（オフフックダイヤル）……５３

３．３．１．４　ワンタッチ発信（オンフックダイヤル）……５４

３．３．１．５　発信履歴を使って電話する……５５

３．３．１．６　着信履歴を使って電話する……５６

３．３．１．７　電話帳を使って電話する……５７

３．３．１．８　リダイヤルを使用して発信する……５８

３．３．２　電話の受け方

３．３．２．１　通常受信（オフフック応答）……５９

３．３．２．２　スピーカホン受信（オフフック応答）……６０

３．３．３　保留の仕方……６１

３．３．４　転送の仕方……６２

３．３．５　会議／ドロップの仕方……６３

３．３．６　その他特殊機能

３．３．６．１　自動転送の設定／解除……６５

３．３．６．２　音声呼出……６６

３．３．６．３　ウィスパーページ（秘書機能）……６７

３．３．６．４　不在転送の設定／解除……６８

３．３．６．５　メッセージウェイティング……６９

３．３．６．６　代理応答……７０

３．３．６．７　メニュー機能……７１

４．　困った時は

４．１　ＬＣＤに表示されるエラー……７８

４．２　こんな時は……７９

５．　付録

５．１　装置仕様……８２

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

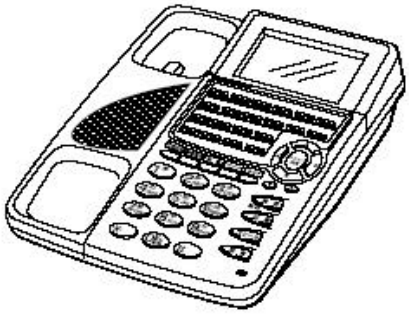
１．本装置について

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

１．１　装置の確認

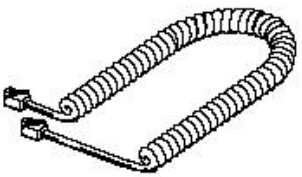
装置を箱から取り出したら、同梱されている内容を確認してください。
万一、不足しているものがある場合は、ご連絡ください。

◆同梱



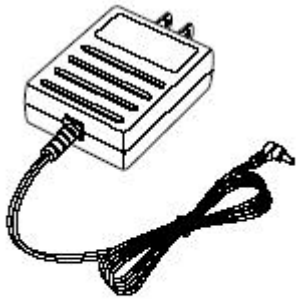
本体

受話器



カールコード

◆別売品



ACアダプタ

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

１．２　装置の概要

本電話機は、アバイア製テレフォニーシステムと組み合わせて使用することによって豊富な機能を備えた多機能電話機として動作します。

電話機の基本機能として発信、着信、保留、転送、会議（最大６者）はもちろんのこと、発着信履歴、電話帳(電話帳の編集は別途 PC 上から行います。電話機上からは出来ません。)、その他特殊機能として、自動転送、音声呼出、ウィスパーページ、不在転送、メッセージウェイティング、メニュー機能等、多彩な機能を備えており、日本語にも対応している為、容易に扱うことが可能となっています。

また、本電話機の NW ポートは POE に対応していますので、POE に対応したネットワーク機器に本電話機を接続して使用しますと、別途 AC アダプタ(別売)による電源の供給を必要としません。(PC ポートからは給電されません。)

また、本電話機には NW ポートと PC ポートを備えていますので、本電話機の PC ポートに PC 等を接続することによって、ネットワークにアクセスすることが可能です。さらに、VLAN 機能を有していますので VLAN 機能に対応したネットワーク機器と組み合わせて使用することにより、電話と PC のネットワークを分割した運用も可能です。

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

１．３　機能の概要

本装置は以下の機能を実装しています。

■基本機能

・発信（通常発信、スピーカーホン発信、ワンタッチ発信、発着信履歴からの発信、
　　電話帳からの発信、リダイヤル発信）
・着信（通常受話、スピーカホン受話）
・保留
・転送
・会議／ドロップ（最大 6 者までの会議が可能）

■その他特殊機能

・自動転送
　不在中にかかってきた電話を事前に登録しておいた番号の電話機に自動的に転送します。
・音声呼出
　発信側から音声で相手を呼び出すことが出来ます。
・ウィスパーページ
　通話中の VIP に対し、VIP の通話相手に聞こえないように秘書から割込み通話をすることが出来ます。
・不在転送
　不在中にかかってきた電話の転送先を電話機上から登録し、登録先の電話機に自動的に転送します。
・メッセージウェイティング
　呼出中の相手内線が無応答のとき、着信先のＳＩＰビジネスフォンに付属するランプを点灯させメッセージがあることを表示できます。
・メニュー機能
　メニューキーに割付けられた機能を使用することが出来ます。

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

１．４　使用要件

・本装置を動作させる為にはアバイア製テレフォニーシステムが稼動している環境であり、かつ、本装置を使用する上で必要な設定が各システムになされていること。
・本装置の端末設定等(電話帳編集等)を行うためのコンピュータには、10Base-T/100Base-TX（10MB/ 秒および 100MB/ 秒）をサポートする LAN（Ethernet）カードおよび TCP/IP プロトコルがインストールされていること
・Web 設定画面を使用する場合、「Internet Explorer 6.0」以降、または「Netscape Navigator 6.0」以降がインストールされていること
・LAN に接続される各コンピュータには、TCP/IP プロトコルがインストールされていること

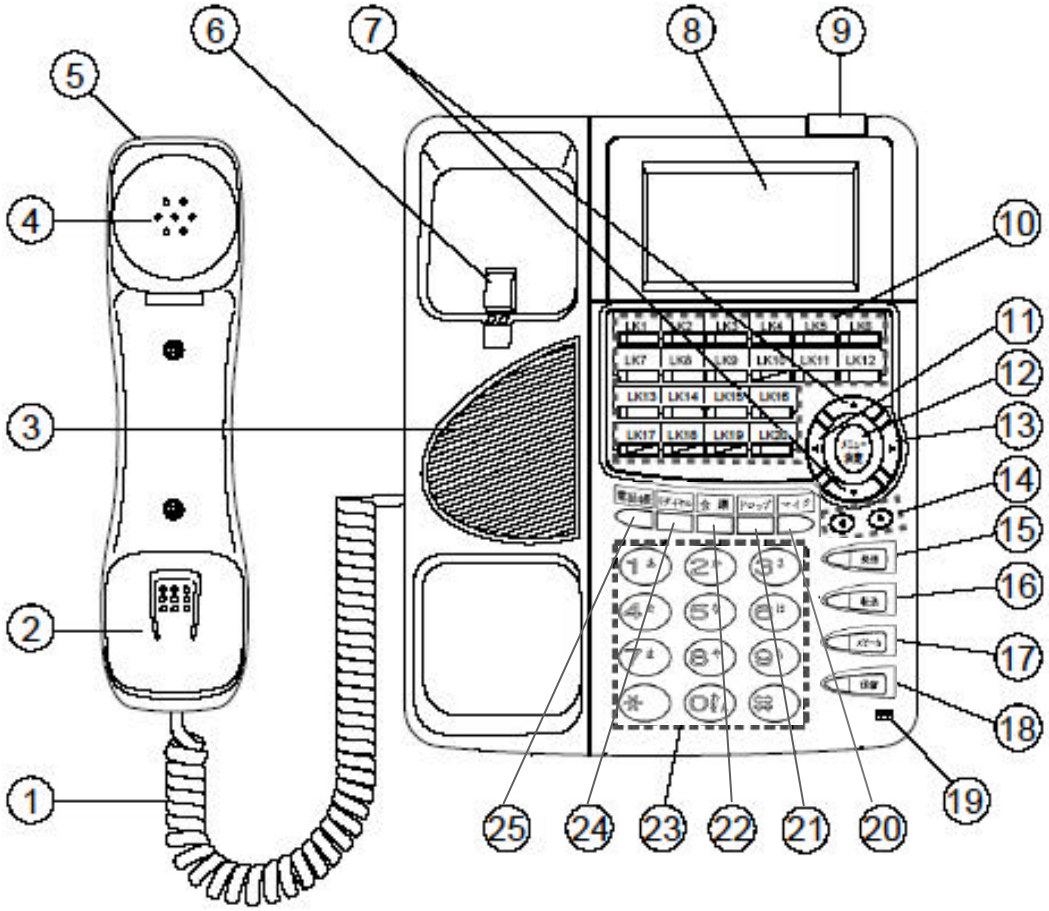
© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

2．各部の名称と働き

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

２．１　装置の外観

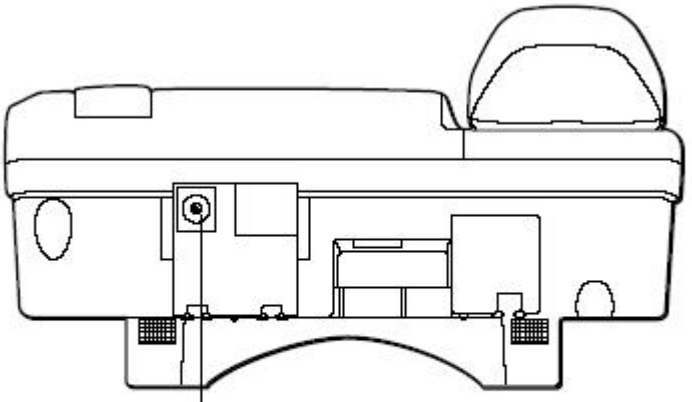
＜本体＞



① **カールコード**
② **送話口**
③ **スピーカ**
着信音や相手の声を聞くことができます。
④ **受話口**
⑤ **受話器**
⑥ **フックスイッチ**
⑦ **コントラスト調節ボタン／上下カーソルボタン**
LCDコントラスト調整およびメニュー画面切り替えやカーソル移動に使います。
⑧ **液晶ディスプレイ（ＬＣＤ）**
時刻、メニュー、ダイヤル等の表示を行ないます。
⑨ **着信ランプ**
着信がある時点滅します。
⑩ **回線ボタン／機能ボタン**
回線や各種機能を割り当てます。ボタン番号は、左上から右下に1~20 です。
⑪ **着信履歴ボタン／左カーソル**
着信履歴を表示するときに使います。
メニュー表示のとき、一つ前のメニューに戻るときに使います。
⑫ **メニュー／決定ボタン**
設定や、プログラムのバージョンアップを行うときに使います。
⑬ **発信履歴ボタン／右カーソル**
発信履歴を表示するときに使います。
⑭ **音量調節ボタン**
音量の大小を変更するときに使います。
⑮ **発信ボタン**
ダイヤル後すぐに発信する場合に使います。
⑯ **転送ボタン**
通話中の相手を別の電話に転送するときに
⑰ **スピーカボタン**
スピーカ受話やオンフックダイヤルをするときに使います。
⑱ **保留ボタン**
通話を保留するときに使います。
⑲ **マイク**
ハンズフリーでお話しするときに使います。
⑳ **マイクボタン**
マイクを有効にするときに使います。
㉑ **ドロップボタン**
会議参加者を離脱するときに使います。
㉒ **会議ボタン**
会議通話を行なうときに使います。
㉓ **ダイヤルボタン**
電話をかけたり、登録や設定のときに使います。
㉔ **リダイヤルボタン**
リダイヤル発信を行なうときに使います。
㉕ **電話帳ボタン**
電話帳登録やカナ検索を行なうときに使います。

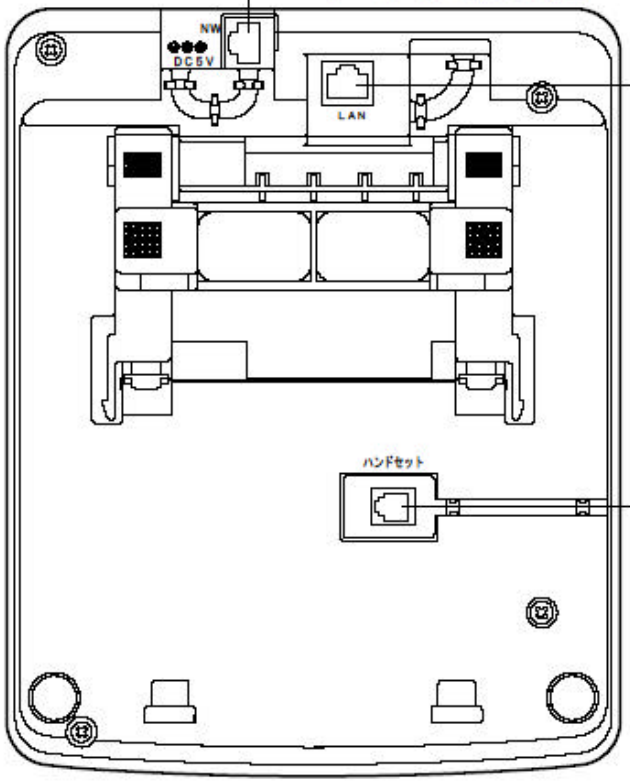
© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

＜背面＞



ＡＣアダプタコード差し込み口
ＡＣアダプタコードを差し込みます。
LAN給電を行うときはACアダプタは不要です。

＜底面＞



NWポート（ネットワーク側と接続するポート）
ＬＡＮケーブルを差し込みます。

ＰＣポート（PC等を接続するポート）
ＬＡＮケーブルを差し込みます。

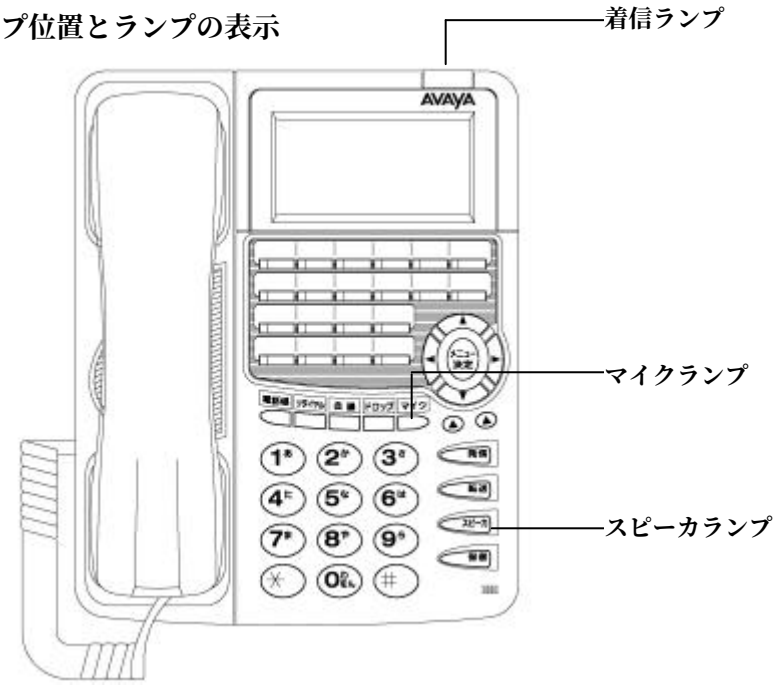
※ＬＡＮケーブルは添付しておりませんので、お客様でご用意ください。

カールコード差込口
カールコードを差し込みます。

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

２．２　表示の説明

２．２．１　ランプ位置とランプの表示



ランプの種類	ランプのつき方	電話機の状態
着信ランプ	赤点灯	メッセージウェイティングあるとき
	赤点滅（速）	電話がかかってきているとき
	消灯	上記以外
スピーカランプ	赤点灯	スピーカを使用しているとき
	消灯	上記以外
マイクランプ	赤点灯	マイクが使用可能なとき
	消灯	上記以外

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

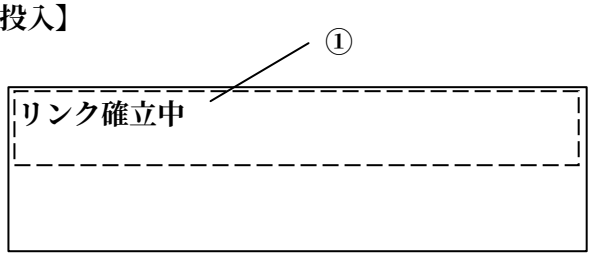
機能キーのランプ状態

キー種別	ランプのつき方	電話機の状態
ラインキー （ブリッジキー、プライムキー）	消灯	空き状態
	赤点滅（速）	着信中
	緑点滅（遅）	自端末保留中
	緑点灯	自端末使用中（ダイヤル／発信／通話／切断中）
	赤点灯	他端末使用中
	赤点滅（遅）	他端末保留中
キャンプオン (Automatic Call Back)	消灯	キャンプオン解除
	緑点灯	キャンプオン起動中
不在転送 (Call Forward)	消灯	不在転送解除
	緑点灯	不在転送起動中
自動転送 (Send All Call)	消灯	自動転送解除
	緑点灯	自動転送起動中
他者ボイスメール表示	消灯	ボイスメールなし
	赤点灯	ボイスメールあり

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

２．２．２　液晶表示の見方

【電源投入】



①状態表示／ログイン表示（入力）

リンク確立中：ネットワークのリンク確立処理中

起動中...：電源が投入され HW、SW 等の初期化処理が実行されている状態。

Download 実行：プログラム等のダウンロード処理中

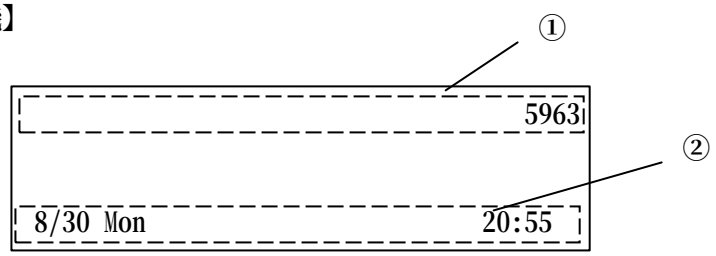
login:ID 入力：ログイン ID の入力待ちの状態。(入力されるログイン ID も表示。)

login:PW 入力:パスワード入力待ちの状態。(入力されるパスワードは「*」で表示。)

データ取得中...：設定データの取得処理中

登録削除中：SIP サーバ内の登録データ削除中。

【待機】



①自プライム番号表示

②日付／時刻表示

月　：MM　1～12

日　：DD　1～31

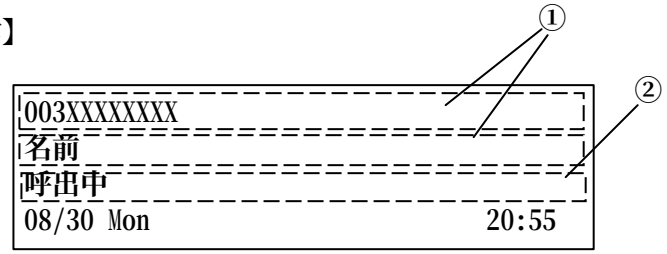
曜日：Sun/Mon/Tue/Wed/Thu/Fri/Sat

時刻：hh　00～23

　　mm　00～59

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

【発信】



① 接続先表示

入力ダイヤル：ダイヤルした電話番号を表示します。

名前：入力したダイヤルが電話帳に登録されている場合、名前を表示します。

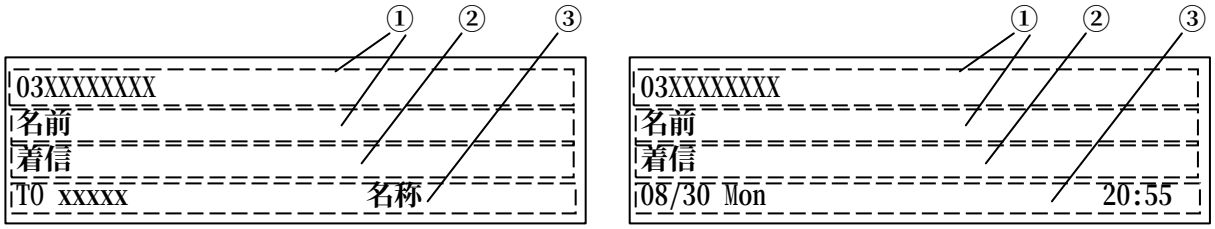
PBX から名称の通知がある場合、名前を表示します。

② 状態表示

呼出中：相手を呼び出している状態

話し中：相手が話し中の状態

【着信】



① 発信元表示

電話番号　　：発信元電話番号を表示します。

名前　　：発信元の電話番号が電話帳に登録されている場合、名前を表示します。PBX から名称の通知がある場合、名前を表示します。

② 状態表示

着信　　：着信している状態

③ 着信先表示

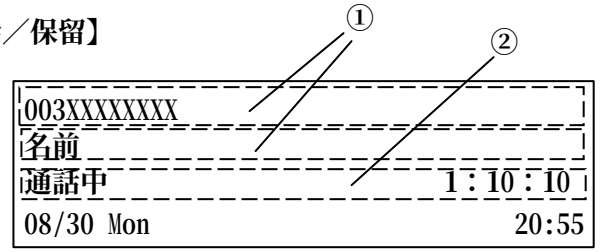
TO xxxx　　：着信先がブリッジキーの場合、着信先の番号を表示します。

プライムへ着信の場合は、カレンダーを表示します。

ＰＢＸ通知名称：PBX 通知名称がある場合、名前と番号を表示します。

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

【通話／保留】



① 接続先表示

電話番号　　：接続先電話番号を表示します。

名前　　：接続先の電話番号が電話帳に登録されている場合、名前を表示します。PBX から名称の通知がある場合、名前を表示します。

② 状態表示

通話中　　：通話している状態

保留　　：保留している状態

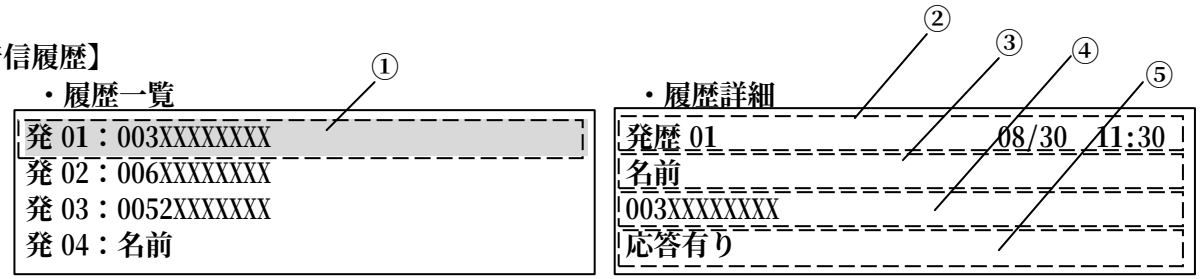
通話時間　　：h　1～9

mm　0～59

ss　0～59

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

【発着信履歴】



① 情報

履歴番号　　：最新の履歴から順に古い履歴を表示します。
　　履歴数は発着信ともに 20 件ずつ保持します。

名前／電話番号：接続先の電話番号が電話帳に登録されている場合、または PBX から名前が通知された場合は、名前を表示します。
（全角 7 文字または半角 15 文字）

② 発（着）信履歴

履歴番号：01～20

発（着）信日付／時刻表示

月　：MM　01～12
日　：DD　01～31
時刻：hh　00～23
　　mm　00～59

③ 電話帳の登録内容または、PBX から通知された名称を表示します。

④ 電話番号

相手先の電話番号を表示。（最大 20 桁表示）

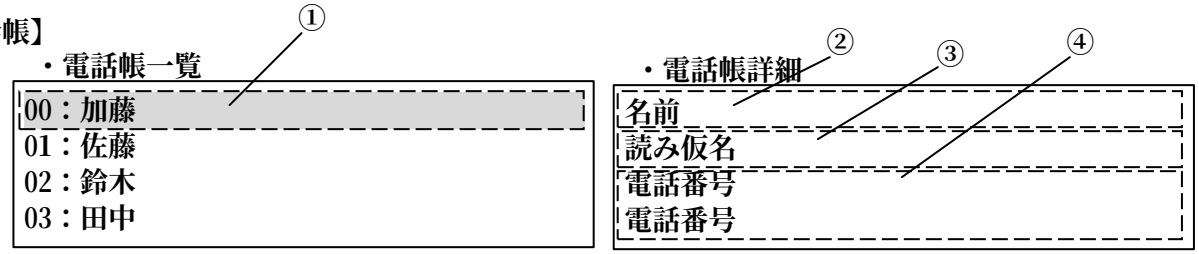
⑤ 応答状況

応答有りの場合の表示：「応答あり」

応答無しの場合の表示：「応答なし」

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

【電話帳】



① 番号／名前

番号は連番で 00～99 の 100 件登録可能

登録されている名前を、読み仮名(カタカナ)の順に表示します。

② 名前

登録されている名前を表示します。

③ 読み仮名

登録されている名前の読み仮名（カタカナ）を表示します。

④ 電話番号

登録されている電話番号を表示します。

（3 行目、4 行目を使用して最大 40 桁まで表示可能）

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

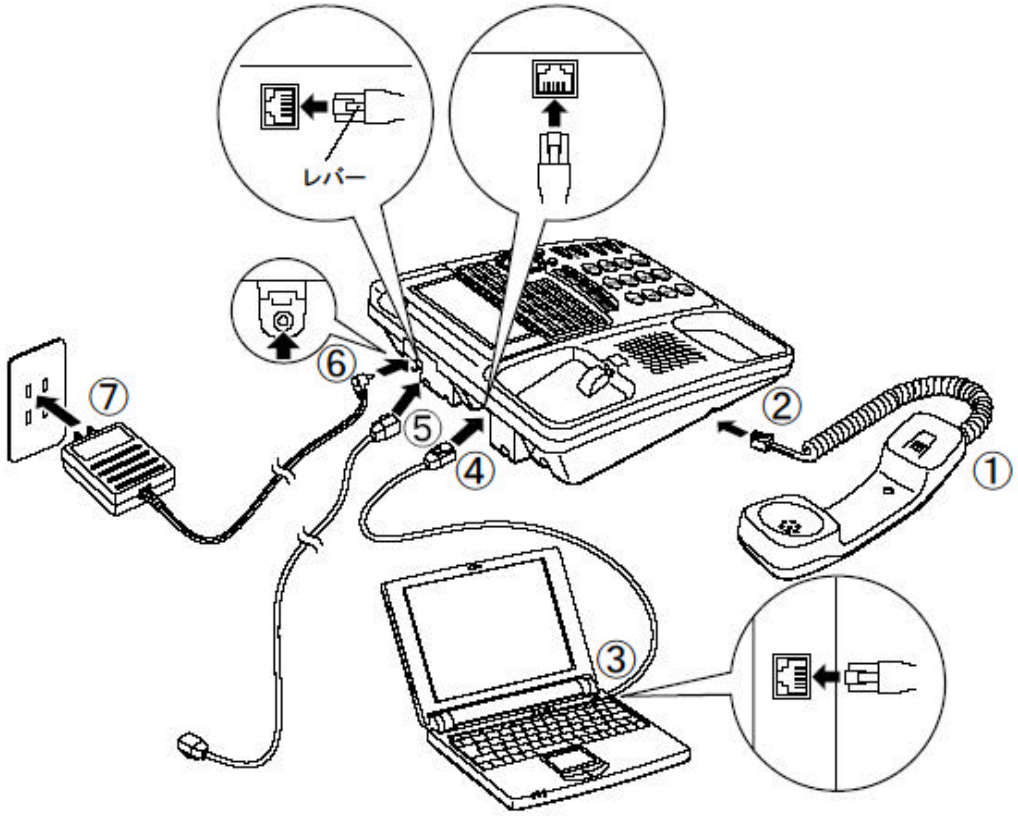
3．セットアップ

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

3．１　装置の接続

３．１．１　ＡＣアダプタを使用する場合

＜セットの接続＞



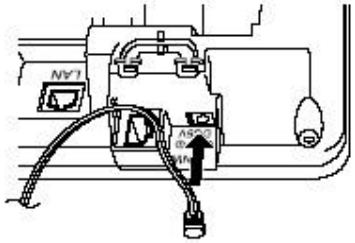
① カールコードを受話器の差込口につなぎます。
② カールコードを本体の差込口につなぎます。
③ LANケーブルをPCにつなぎます。
④ PCに接続したLANケーブルの片側を本体のPCポート差込口につなぎます。
⑤ VoIPネットワークにつながるLANケーブルを本体のNWポート差込口につなぎます。
⑥ ACアダプタの差込プラグを本体の差込口につなぎます。
⑦ ACアダプタを電源コンセント（AC100V）に差し込みます。

!ご注意

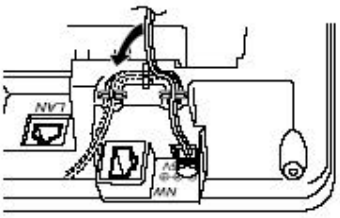
◆カールコードやLANケーブルを差し込むときは、カチッと音が出るまで差し込んでください。
◆カールコードやLANケーブルを引き抜くときは、レバーを押さえながら引き抜いてください。

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

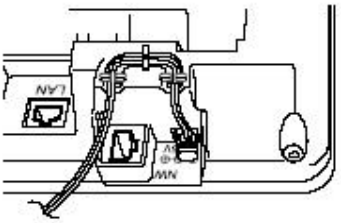
＜ACアダプタの電話機への接続の仕方＞



①プラグを電話機の差込口に差込みます。



②電話機を裏返し、図のようにコードを溝に沿って差込みます。

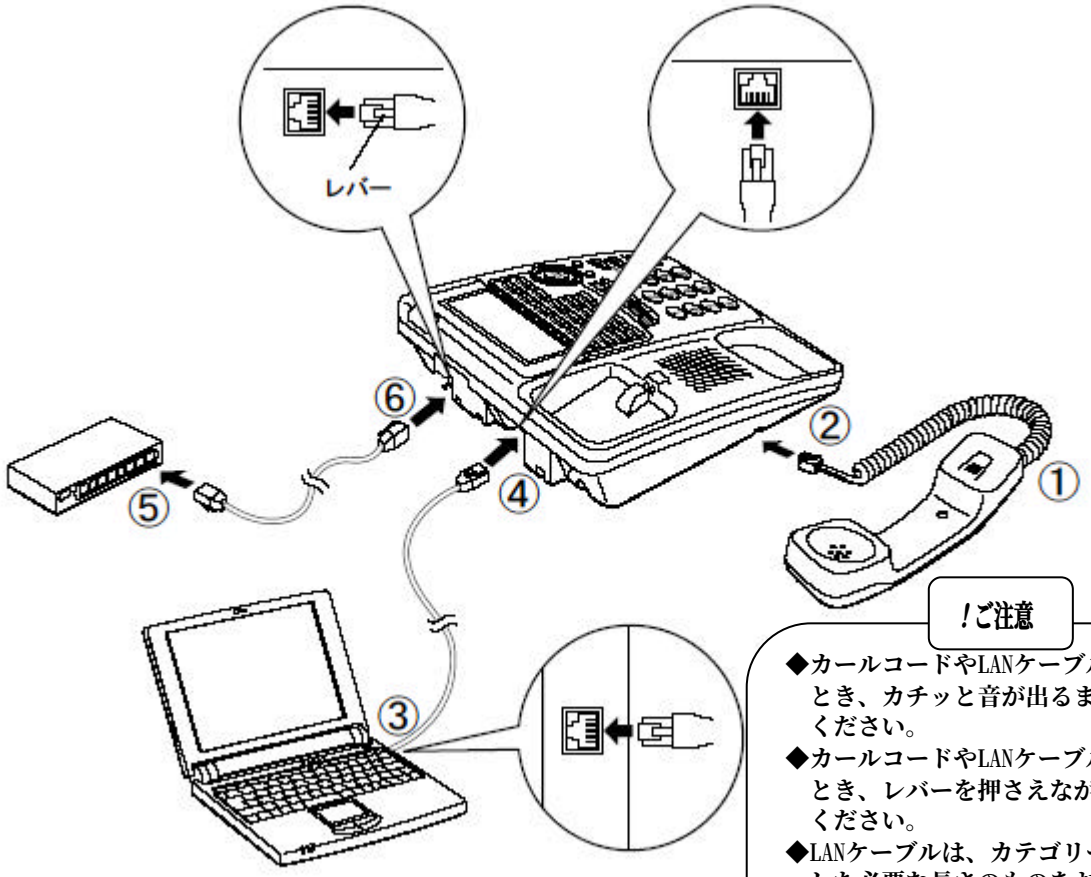


③図のようにコードを溝に沿ってしっかり固定してください。

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

３．１．２　給電ＨＵＢを使用する場合

＜セットの接続＞



！ご注意

◆カールコードやLANケーブルを差し込むとき、カチッと音が出るまで差し込んでください。

◆カールコードやLANケーブルを引き抜くとき、レバーを押さえながら引き抜いてください。

◆LANケーブルは、カテゴリー５以上に準拠した必要な長さのものをお客様で準備してください。（ストレートでもクロスでも可）

① カールコードを受話器の差込口につなぎます。

② カールコードを本体の差込口につなぎます。

③ LANケーブルをPCにつなぎます。

④ PCに接続したLANケーブルの片側を本体のPCポート差込口につなぎます。

⑤ LANケーブルを給電HUBにつなぎます。

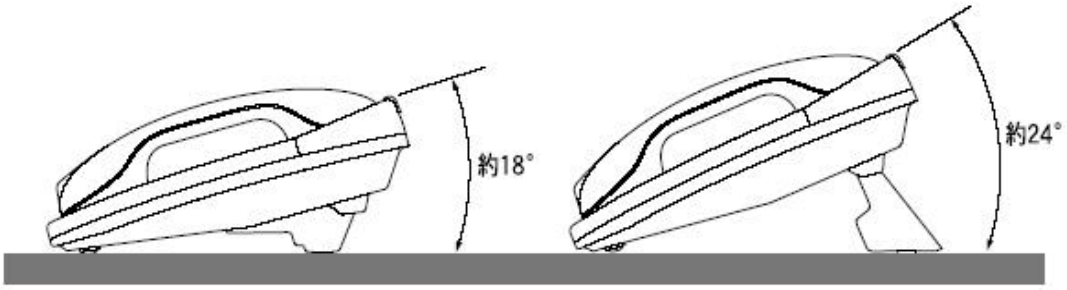
⑥ 給電HUBに接続したLANケーブルの片側を本体のNWポートにつなぎます。

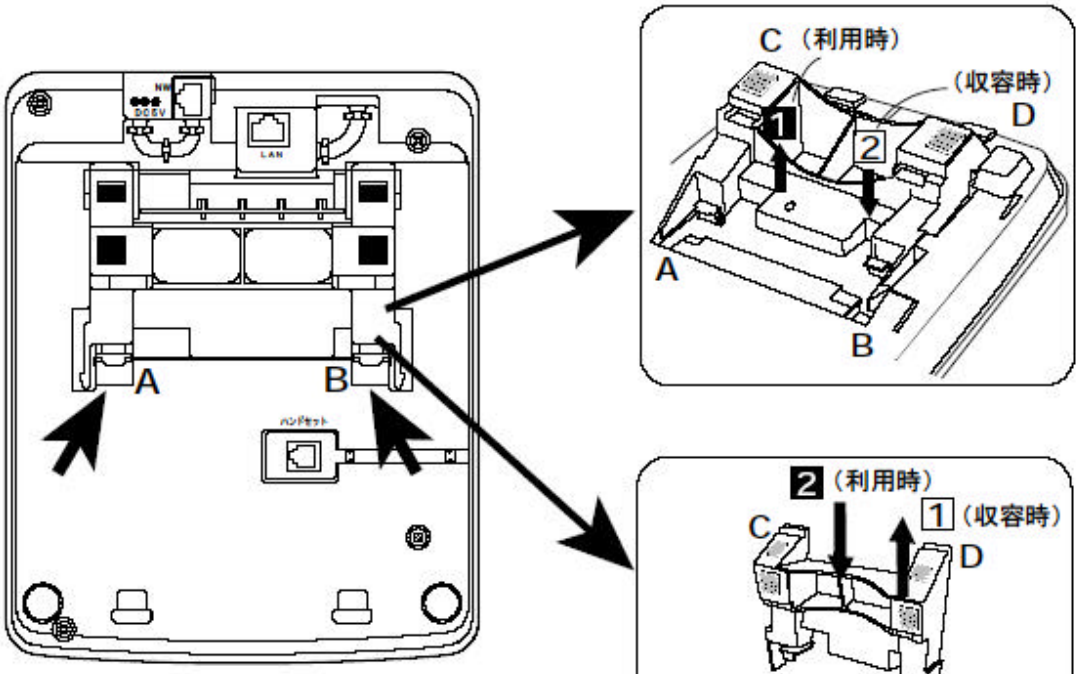
© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

３．１．３　電話機の取り付け角度を変える

電話機の設置角度を変えることが出来ます。裏面のアングルアジャスタを使って下図のように角度を変えます

●アングルアジャスタを利用しない場合　　●アングルアジャスタを利用した場合





［アングルアジャスタを利用する］

1 AとBのツメを押しながら角度切替用足を底板から外します。

2 角度切替用足を電話機の底板の溝に差し込みます。

［アングルアジャスタを収容する］

1 角度切替用足を上に引き上げます。

2 CとDを底板の溝に差し込み、矢印方向にパチンというまで押します。

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

3．2　本装置のセットアップ

３．２．１　お使いになる前のデータ設定

３．２．１．１　ネットワーク設定

※　メニュー画面で項目選択するには、 または で項目までカーソルを移動させて、『決定』ボタンを押します。

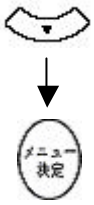
▼操作手順

カレンダー／時計表示画面

1 カレンダー／時計表示をしているとき

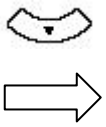
［ﾒﾆｭｰ/決定］ボタンを押す。

```
                    5963


11/11 Sun        11:11
```

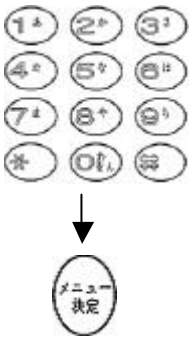


2 “ 8:電話機保守設定 ” を選択する。

```
1: 音量／音質設定
2: ワンタッチダイヤル
3:キー割付
4:ソフトキー
```



```
5:電話機再起動
6:ログアウト
7:カレンダ設定
8:電話機保守設定
```

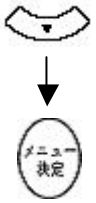


3 コードを入力する。

※コードは、管理者にお問い合わせ下さい。

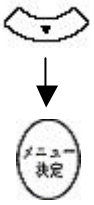
```
Code
****
```

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.



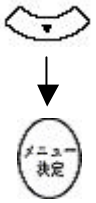
4 “1:ネットワーク設定”を選択する。

1:ネットワーク設定
2:オプション設定
3:端末情報表示
4:工場出荷設定



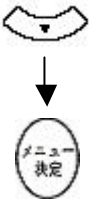
5 “01:DHCP使用”を選択する。

01:DHCP 使用
02:IP アドレス
03:サブネットマスク
04:デフォルト GW



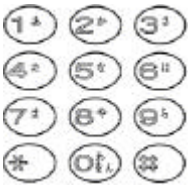
6 “1:使用する”または“2:使用しない”を
選択し、[メニュー・決定]ボタンを押す。
設定をキャンセルする場合は、 を押す。

DHCP 使用
1:使用する
2:使用しない



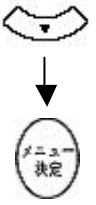
7 “02:IPアドレス”を選択する。

01:DHCP 使用
02:IP アドレス
03:サブネットマスク
04:デフォルト GW



8 IPアドレスを入力する。

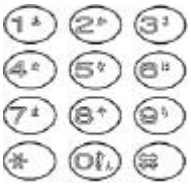
IP アドレス
xxx.xxx.xxx.xxx



9 “03:サブネットマスク”を選択する。

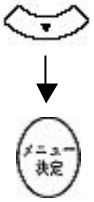
01:DHCP 使用
02:IP アドレス
03:サブネットマスク
04:デフォルト GW

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.



10 サブネットマスクを入力する。

サブネットマスク
xxx.xxx.xxx.xxx

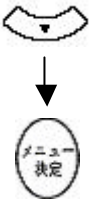


11 “04:デフォルトGW”を選択する。

01:DHCP 使用
02:IP アドレス
03:サブネットマスク
04:デフォルト GW

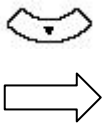
12 デフォルトGWを入力する。

デフォルト GW
xxx.xxx.xxx.xxx

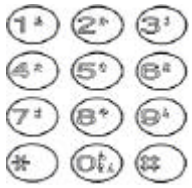


13 “05:NTPサーバ”を選択する。

01:DHCP 使用
02:IP アドレス
03:サブネットマスク
04:デフォルト GW



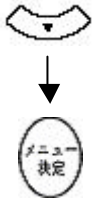
05:NTP サーバ
06:DNS サーバ
07:タイムオフセット
08:FTP サーバ



14 NTPサーバのアドレスを入力する

使用しない場合は、000.000.000.000 を設定します。

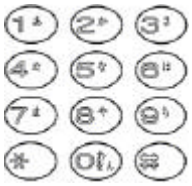
NTP サーバ
xxx.xxx.xxx.xxx



15 “06:DNSサーバ”を選択する。

05:NTP サーバ
06:DNS サーバ
07:タイムオフセット
08:FTP サーバ

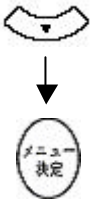
© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.



16 DNSサーバのアドレスを入力する。

使用しない場合は、000.000.000.000 を設定します。

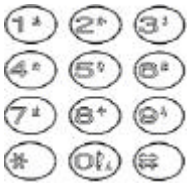
DNS サーバ
xxx.xxx.xxx.xxx



17 “07（タイムオフセット）”を選択する。

※NTPサーバを使用する場合のみ入力して下さい。
使用しない場合は、000.000.000.000 を設定します。

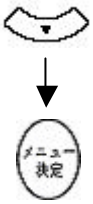
05:NTP サーバ
06:DNS サーバ
07:タイムオフセット
08:FTP サーバ



18 タイムオフセットを入力する。

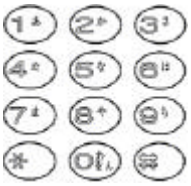
#23～23[時間]の値を入力します。
※　マイナス値の入力には”#”を使用します。
※　通常は”9”と設定してください。

タイムオフセット
xx



19 “08:FTPサーバ”を選択する。

05:NTP サーバ
06:DNS サーバ
07:タイムオフセット
08:FTP サーバ

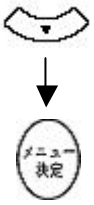


20 FTPサーバのアドレスを入力する。

使用しない場合は、000.000.000.000 を設定します。

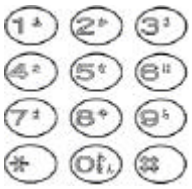
FTP サーバ
xxx.xxx.xxx.xxx

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.



21 “09:PPMサーバ”を選択する。

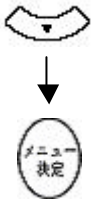
09:PPM サーバ
10:VLAN タグ
11:VLAN 番号
12:L2 プライオリティ



22 PPMサーバのアドレスを入力する。

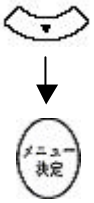
PPM サーバ
xxx.xxx.xxx.xxx

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.



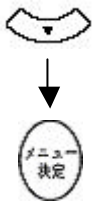
23 “10:VLANタグ”を選択する。

09:PPM サーバ
10:VLAN タグ
11:VLAN 番号
12:L2 プライオリティ



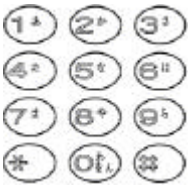
24 “1:ON”“2:OFF”を選択する。

VLAN タグ
1:ON
2:OFF



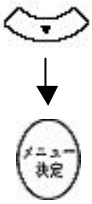
25 “11:VLAN番号”を選択する。

09:PPM サーバ
10:VLAN タグ
11:VLAN 番号
12:L2 プライオリティ



26 VLAN番号を入力する。

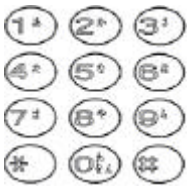
VLAN 番号
x



27 “12:L2プライオリティ”を選択する。

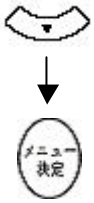
09:PPM サーバ
10:VLAN タグ
11:VLAN 番号
12:L2 プライオリティ

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.



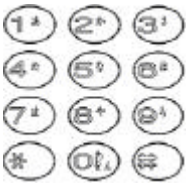
28 L2プライオリティを設定する。

L2 プライオリティ
x



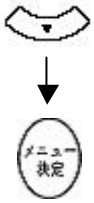
29 “13:DSCP<RTP>”を選択する。

13:DSCP(RTP)
14:DSCP(SIP)
15:NW ポート設定
16:LAN ポート設定



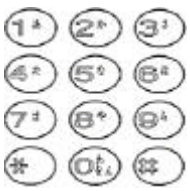
30 DSCP（RTP）を設定する。

DSCP（RTP）
xx



31 “14:DSCP<SIP>”を選択する。

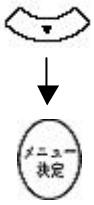
13:DSCP<RTP>
14:DSCP<SIP>
15:NW ポート設定
16:LAN ポート設定



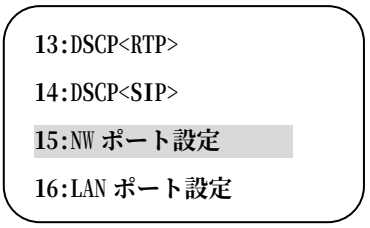
32 DSCP（SIP）を設定する。

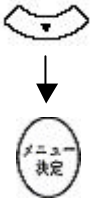
DSCP（SIP）
xx

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

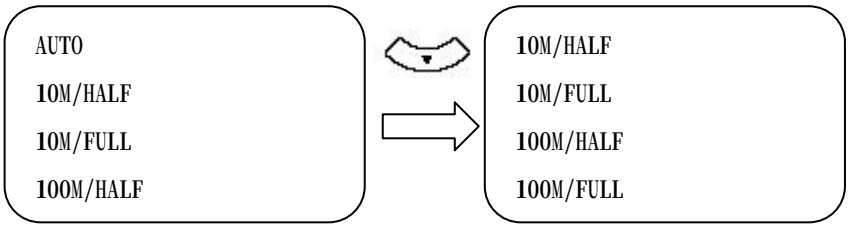


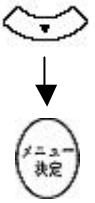
33 “15:NWポート設定”を選択する。



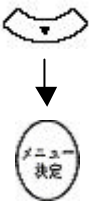


34 NWポートの設定を選択して、設定する。

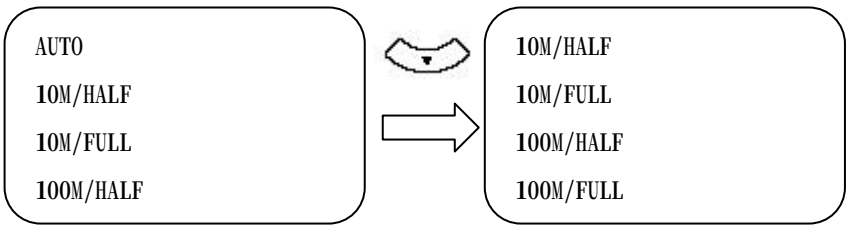




35 “16:LANポート設定”を選択する。



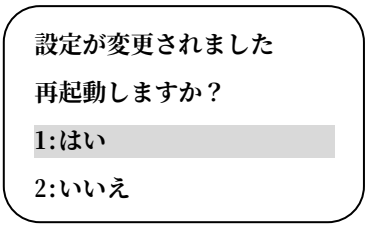
36 LANポートの設定を選択して、設定する。



© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

37 **メニューを終了させます。**

※右図が表示された場合は、”1:はい”を選択し、電話機を再起動して下さい。



© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

３．２．１．２　ＶＬＡＮ設定

※　３．２．１．１項 ネットワーク設定メニューでの VLAN 番号設定内容と同一です。
VLAN 設定表示モードの設定内容により、表示される内容が異なります。

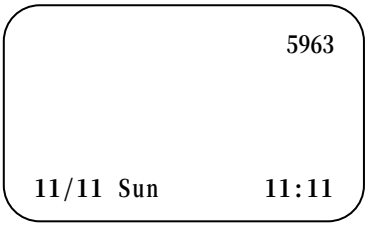
※　メニュー画面で項目選択するには、 または で項目までカーソルを移動させて、『決定』ボタンを押します。

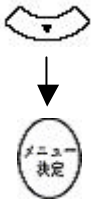
▼操作手順

カレンダー／時計表示画面

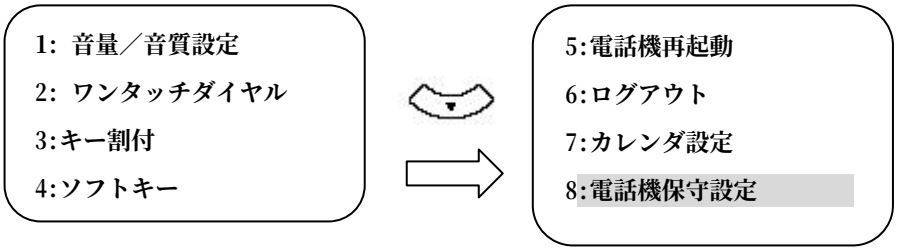
1 カレンダー／時計表示をしているとき

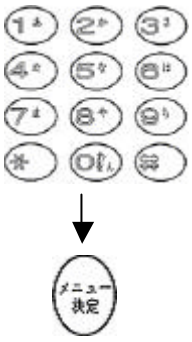
［ﾒﾆｭｰ/決定］ボタンを押す。





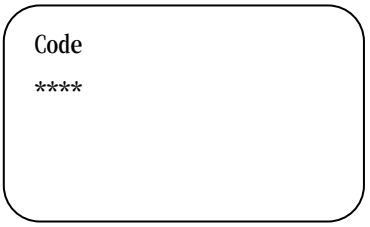
2 “ 8:電話機保守設定 ” を選択する。





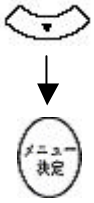
3 コードを入力する。

※コードは、管理者にお問い合わせ下さい。



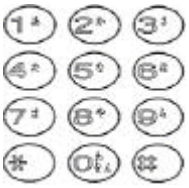
© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

VLAN 設定表示モード= 特殊表示 の場合



2 “ 5:フロア移動 ” を選択する。

1:ネットワーク設定
2:オプション設定
3:端末情報表示
4:工場出荷設定
5:フロア移動



3 フロア番号を入力する

※ 「“ 入力値 ”+ 500 」が、VLAN番号として設定されます。

フロア番号
XX

現在の設定値が表示

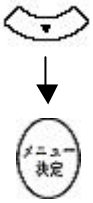
4 メニューを終了させます。

※右図が表示された場合は、 ”1:はい ” を選択し、電話機を再起動して下さい。

設定が変更されました
再起動しますか？
1:はい
2:いいえ

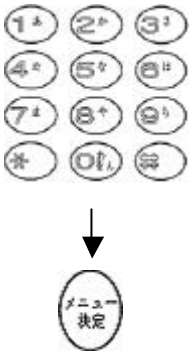
© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

VLAN 設定表示モード= 通常表示 の場合



2 “ 5:VLAN設定 ” を選択する。

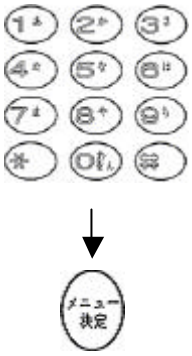
1:ネットワーク設定
2:オプション設定
3:端末情報表示
4:工場出荷設定
5:VLAN設定



3 コードを入力する。

※コードは、管理者にお問い合わせ下さい。

Code
****



4 VLAN番号を入力する。

VLAN番号
XX

現在の設定値が表示

5 メニューを終了させます。

※右図が表示された場合は、 ”1:はい ” を
選択し、電話機を再起動して下さい。

設定が変更されました
再起動しますか？
1:はい
2:いいえ

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

３．２．１．３　ワンタッチ設定

メニューより、ワンタッチキーにワンタッチダイヤルを設定できます。

※　メニュー画面で項目選択するには、 または で項目までカーソルを移動させて、『決定』ボタンを押します。

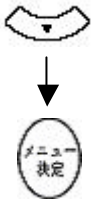
▼操作手順

1 カレンダー／時計表示をしているとき

［ﾒﾆｭｰ/決定］ボタンを押す。

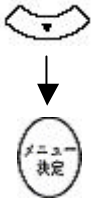
```
                    5963


11/11 Sun        11:11
```

2 “2:ワンタッチダイヤル”を選択する。



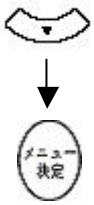

```
1: 音量／音質設定
2: ワンタッチダイヤル
3:キー割付
4:ソフトキー
```

3 “１（編集）”を選択する。




```
1:編集
2:保存
```

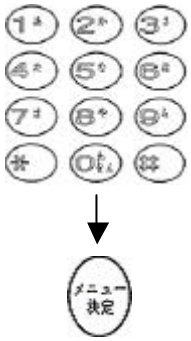
4 編集するキーを選択する。



※ 右図は、15 番、18 番、19 番のキーを
ワンタッチダイヤルに使用する場合の例。

```
15:12345
18:
19:
```

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.



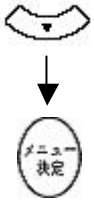
5 編集を行います。

２行目に現在の設定値が表示されます。
４行目に新しく入力した番号が表示されます。
入力が終了したら、[メニュー決定]ボタンを
押します

```
LK18:
12345

5678
```

6 編集が終了したら、 を押します。

```
15:5678
18:
19:
```



7“２:保存”を選択する。

※保存操作を行わないと、サーバ上のデータが
更新されないため、電話機の再起動などで
設定値が戻る場合があります。

```
1:編集
2:保存
```

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

３．２．１．４　鳴動設定

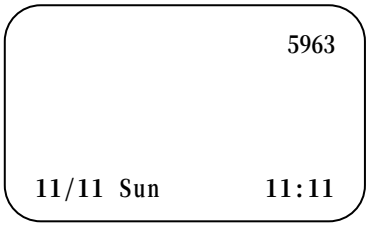
メニューより、ブリッジのラインキー毎の着信時鳴動／無鳴動を選択する
ことができます。

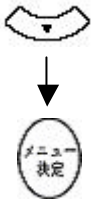
※　メニュー画面で項目選択するには、 または で項目までカーソルを移動させて、『決定』ボタンを押してください。

▼操作手順

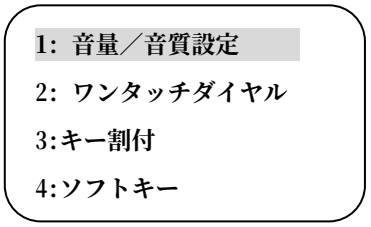
1 カレンダー／時計表示をしているとき

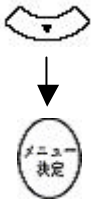
［ﾒﾆｭｰ/決定］ボタンを押す。



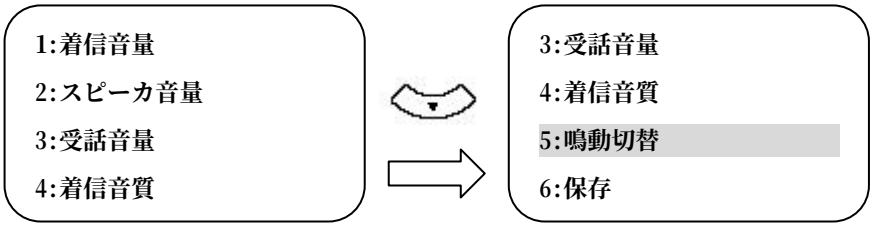


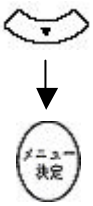
2 “1:音量／音質設定”を選択する。



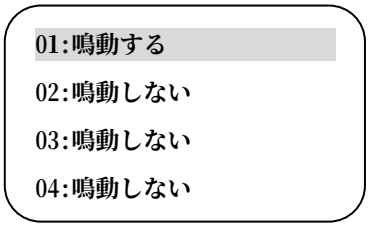


3 “5（鳴動切替）”を選択する。

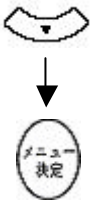




4 設定を変更するキーを選択する。



© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.



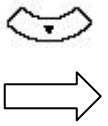
5“ 1 :鳴動する ”または

“ 2:鳴動しない ”を選択する。

1:鳴動する
2:鳴動しない

6 前ページに戻り、“ 6:保存 ”を選択する。

1:着信音量
2:スピーカ音量
3:受話音量
4:着信音質



5:鳴動切替
6:保存

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

３．２．２　音量調節とＬＣＤコントラスト調整

３．２．２．１　音量調節（着信音量／受話音量／スピーカ音量／着信音質）

＜着信音量調節＞

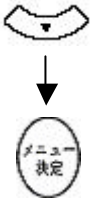
※　メニュー画面で項目選択するには、 または で項目までカーソルを移動させて、『決定』ボタンを押してください。

▼操作手順

1 カレンダー／時計表示をしているとき

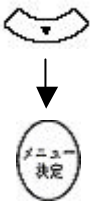
［ﾒﾆｭｰ/決定］ボタンを押す。

```
                    5963

11/11 Sun          11:11
```



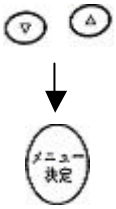
2 “ 1:音量／音質設定 ” を選択する。

```
1:  音量／音質設定
2:  ワンタッチダイヤル
3:キー割付
4:ソフトキー
```



3 “ 1 :着信音量 ” を選択する。

```
1:着信音量
2:スピーカ音量
3:受話音量
4:着信音質
```



4 ［音量調節］ボタンを押して着信時の着信音量を調節します。

音量の大きさは8段階で調節できます。

```
着信音量
>>>>>
```

5 前ページに戻り、“ 6:保存 ” を選択する。

```
1:着信音量
2:スピーカ音量
3:受話音量
4:着信音質
```

→

```
3:受話音量
4:着信音質
5:鳴動切替
6:保存
```

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

＜スピーカ受話音量調節＞

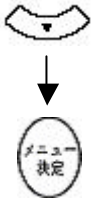
※　メニュー画面で項目選択するには、 または で項目までカーソルを移動させて、『決定』ボタンを押してください。

▼操作手順

1 カレンダー／時計表示をしているとき

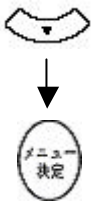
［ﾒﾆｭｰ/決定］ボタンを押す。

```
                    5963

11/11 Sun          11:11
```



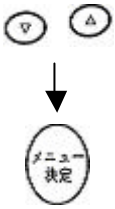
2 “ 1:音量／音質設定 ” を選択する。

```
1: 音量／音質設定
2: ワンタッチダイヤル
3:キー割付
4:ソフトキー
```



3 “ 2（スピーカ音量） ” を選択する。

```
1:着信音量
2:スピーカ音量
3:受話音量
4:着信音質
```



4 ［音量調節］ボタンを押してスピーカ音量を調節します。

音量の大きさは8段階で調節できます。

```
スピーカ音量
>>>>
```

5 前ページに戻り、“ 6:保存 ” を選択する。

```
1:着信音量
2:スピーカ音量
3:受話音量
4:着信音質
```

```
3:受話音量
4:着信音質
5:鳴動切替
6:保存
```

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

＜受話器受話音量調節＞

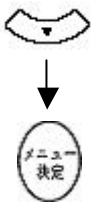
※　メニュー画面で項目選択するには、 または で項目までカーソルを移動させて、『決定』ボタンを押してください。

▼操作手順

1 カレンダー／時計表示をしているとき

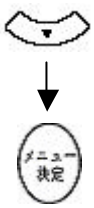
［ﾒﾆｭｰ/決定］ボタンを押す。

```
                    5963

11/11 Sun          11:11
```



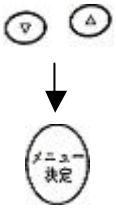
2 “ 1:音量／音質設定 ” を選択する。

```
1: 音量／音質設定
2: ワンタッチダイヤル
3:キー割付
4:ソフトキー
```



3 “ 3:受話音量 ” を選択する。

```
1:着信音量
2:スピーカ音量
3:受話音量
4:着信音質
```



4 ［音量調節］ボタンを押して受話器音量を

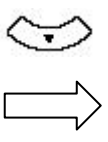
調節します。

音量の大きさは8段階で調節できます。

```
受話音量
>>>>
```

5 前ページに戻り、“ 6:保存 ” を選択する。

```
1:着信音量
2:スピーカ音量
3:受話音量
4:着信音質
```



```
3:受話音量
4:着信音質
5:鳴動切替
6:保存
```

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

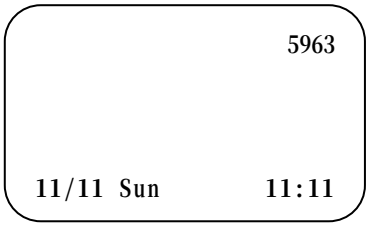
＜着信音質調節＞

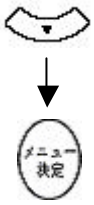
※　メニュー画面で項目選択するには、 または で項目までカーソルを移動させて、『決定』ボタンを押してください。

▼操作手順

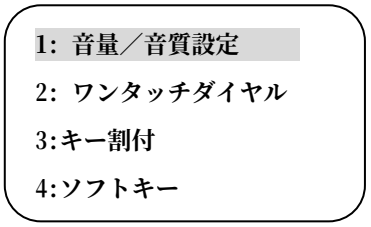
1 カレンダー／時計表示をしているとき

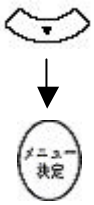
［ﾒﾆｭｰ/決定］ボタンを押す。



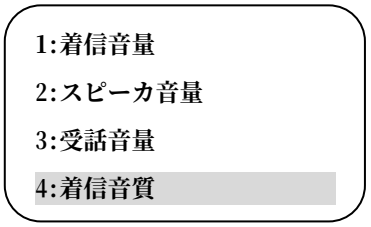


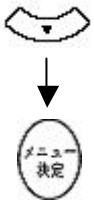
2 “ 1:音量／音質設定 ” を選択する。





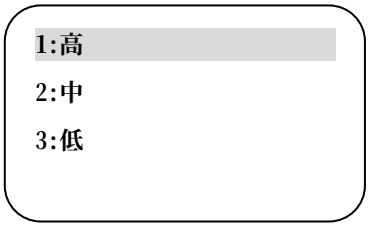
3 “ 4:着信音質 ” を選択する。



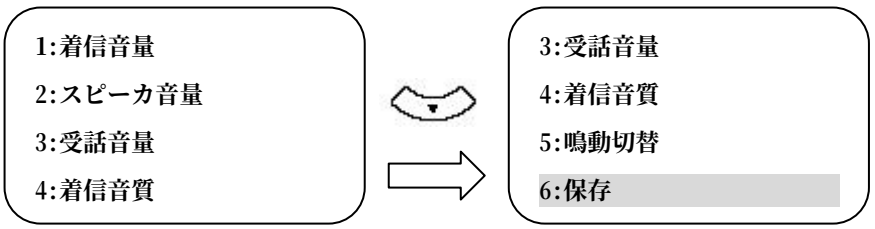


4 “ 1:高 ” “ 2:中 ” “ 3:低 ” を

選択する。



5 前ページに戻り、“ 6:保存 ” を選択する。



© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

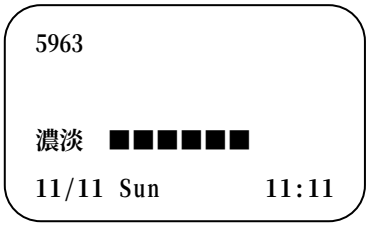
３．２．２．２　ＬＣＤコントラスト調整

▼操作手順

1 **カレンダー／時計表示をしているときに**

または **にて濃度の変更ができます。**

コントラストは８段階で調節できます。



補　足

- **コントラストの初期値は４です。**
- **コントラスト値の調整中は都度表示に反映されます。**
- **コントラストの調整は保存されませんので、給電がされなくなりますと、コントラストの設定値は初期値になります。その際は再度調整お願いします。**

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

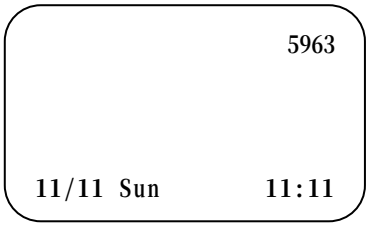
３．２．３　出荷時設定に戻す方法

※　メニュー画面で項目選択するには、 または で項目までカーソルを移動させて、『決定』ボタンを押してください。

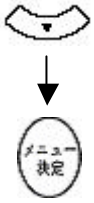
▼操作手順

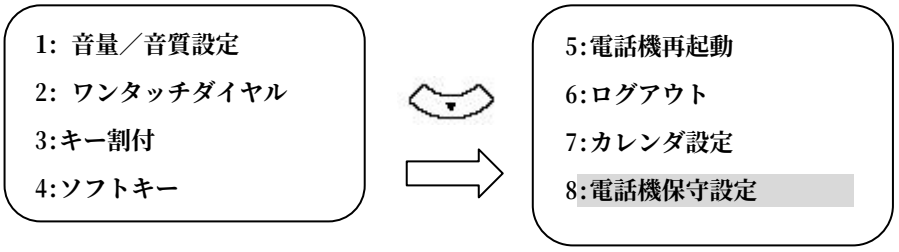
1 カレンダー／時計表示をしているとき

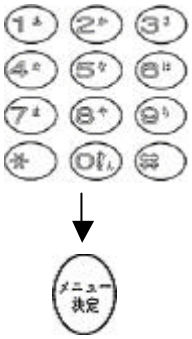
［ﾒﾆｭｰ/決定］ボタンを押す。



2 “ 8:電話機保守設定 ” を選択する。

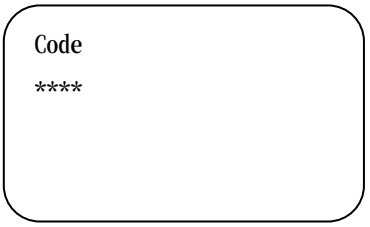




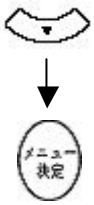


3 コードを入力する。

※コードは、管理者にお問い合わせ下さい。

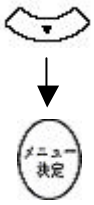


© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.



4 “4:工場出荷設定”を選択する。

1:ネットワーク設定
2:オプション設定
3:端末情報表示
4:工場出荷設定



5 “1:初期化する”を選択する。

1:初期化する
2:キャンセル

⇩

1:ネットワーク設定
2:オプション設定
3:端末情報表示
4:工場出荷設定

6 メニュートップに戻り、

電話機をリセット(”1:はい”を選択)する。

設定が変更されました
再起動しますか？
1:はい
2:いいえ

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

３．３　電話機の使用方法

３．３．１　電話のかけ方

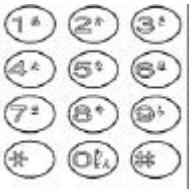
３．３．１．１　通常発信（オフフックダイヤル）

▼操作手順

1　受話器をあげる

● 「ツーツー」という発信音を確認してくださ

```
11/11 Sun          11:11
```



2　電話番号をダイヤルする

● 最終ダイヤルから設定時間後にダイヤル発信し、呼出音が聞こえます。

```
00334567890

11/11 Sun          11:11
```

3　相手の方が出たら、お話しをする。

```
00334567890

通話中             10:00
11/11 Sun          11:21
```

4　お話しが終わったら、受話器を置く

● 通話時間を6秒間表示し、カレンダー/時計表示に戻ります。

```
                   15:00
11/11 Sun          11:26
```

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

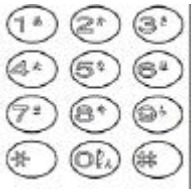
３．３．１．２　スピーカホン発信（オンフックダイヤル）

▼操作手順

1［スピーカ］ボタンを押す

- 「ツーツー」という発信音を確認してください。
- スピーカランプとマイクランプが点灯します。

```
11/11 Sun        11:11
```



2　電話番号をダイヤルする

- 最終ダイヤルから設定時間後にダイヤル発信し、呼出音が聞こえます。

```
00334567890

11/11 Sun        11:11
```

3　相手の方の声がスピーカから聞こえたら、受話器をあげてお話しをする

- スピーカランプが消灯します。
- マイクランプが消灯します。

```
00334567890

通話中           10:00
11/11 Sun        11:21
```

4　お話しが終わったら、受話器を置く

- 通話時間を6秒間表示し、カレンダー/時計表示に戻ります。

```
                 15:00
11/11 Sun        11:26
```

補　足

◇操作手順2で電話番号をダイヤルした後、［発信］ボタンを押すとすぐにダイヤル発信することができます。

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

３．３．１．３　ワンタッチ発信（オフフックダイヤル）

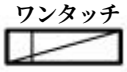
▼操作手順

1　受話器をあげる

● 「ツーツー」という発信音を確認してください。

11/11 Sun　11:11

2［ワンタッチ］ボタンを押す



● 登録されているダイヤルですぐに発信し、呼出音が聞こえます。

00334567890

11/11 Sun　11:11

3　相手の方が出たら、お話しをする

00334567890

通話中　10:00

11/11 Sun　11:21

4　お話しが終わったら、受話器を置く

● 通話時間を6秒間表示し、カレンダー/時計表示に戻ります

15:00

11/11 Sun　11:26

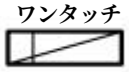
補　足

あらかじめ［ワンタッチ］ボタンの登録が必要です。

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

３．３．１．４　ワンタッチ発信（オンフックダイヤル）

▼操作手順



1 空き状態から[ワンタッチ］ボタンを押す

- 登録されているダイヤルですぐに発信し、呼出音が聞こえます。
- スピーカランプが点灯します。
- マイクランプが点灯します。

000334567890

11/11 Sun　11:11

2 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、受話器をあげてお話しをする

- スピーカランプが消灯します。
- マイクランプが消灯します。

000334567890

通話中　10:00

11/11 Sun　11:21

3 お話しが終わったら、受話器を置く

- 通話時間を6秒間表示し、カレンダー/時計表示に戻ります

15:00

11/11 Sun　11:26

補　足

あらかじめ［ワンタッチ］ボタンの登録が必要です。

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

３．３．１．５　発信履歴を使って電話する

過去２０件分の発信履歴を使用して、電話をかけることができます。

▼操作手順

1 ボタンを押すと発信履歴を表示します。

- 過去に発信したダイヤルが表示されます。

※ PBXから名称が通知された場合、あるいは電話帳に登録された番号の場合は名前で表示されます。

発 01:00334567890
発 02:00355556666
発 03:00333335555
発 04:00522222222

2 かけ直したい番号を ボタンまたは ボタンを押して探す

発 01:00334567890
発 02:00355556666
発 03:00333335555
発 04:00522222222

3 番号が見つかったら受話器をあげる。

- 表示されている発信履歴のダイヤルで発信します。

00333335555

通話中　10:00
11/11 Sun　11:21

4 お話しが終わったら、受話器を置く

- 通話時間を6秒間表示し、カレンダー/時計表示に戻ります。

15:00
11/11 Sun　11:26

補　足

◇一度も電話をかけていないときは、［発信履歴］ボタンを使って電話をかけることはできません。
◇相手の方と繋がらなかった場合でも発信履歴に相手の番号は登録されます。
◇電源を「OFF」にすると発信履歴に登録されているダイヤルは消去される場合があります。
◇操作手順1,2で間で60秒間無操作の場合、発信履歴の表示は消え待機状態に戻ります。

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

３．３．１．６　着信履歴を使って電話する

過去２０件分の着信履歴を使用して、電話をかけることができます。

▼操作手順

1 ボタンを押すと着信履歴を表示します

- 過去に着信したダイヤルが表示されます。

※ PBXから名称が通知された場合、あるいは電話帳に登録された番号の場合は名前で表示されます。

```
着 01:0334567890
着 02:0355556666
着 03:0333335555
着 04:0522222222
```

2 かけ直したい番号を ボタンまたは ボタンを押して探す

```
着 01:0334567890
着 02:0355556666
着 03:0333335555
着 04:0522222222
```

3 番号が見つかったら受話器をあげる。

- 表示されている着信履歴のダイヤルで発信します
- 外線、専用線など発信特番を必要とするあて先に発信する場合は、あて先番号を見つけた後に発信特番をダイヤルしてから受話器を上げてください。

```
0333335555

通話中          10:00
11/11 Sun       11:21
```

4 お話しが終わったら、受話器を置く

- 通話時間を6秒間表示し、カレンダー/時計表示に戻ります。

```
                15:00
11/11 Sun       11:26
```

補　足

◇一度も着信がないときは、［着信履歴］ボタンを使って電話をかけることはできません。
◇電源を「OFF」にすると着信履歴に登録されているダイヤルは消去される場合があります。
◇操作手順1,2で間で60秒間無操作の場合、着信履歴は消え待機状態に戻ります。

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

３．３．１．７　電話帳を使って電話する

電話帳を使用して、電話をかけることができます。

▼操作手順

1［電話帳］ボタンを押す

● 電話帳登録時の読み仮名（カタカナ）の５０音順に表示します。

00:加藤
01:佐藤
02:鈴木
03:田中

2　発信したい番号を　ボタンまたは　ボタンを押して探す

00:加藤
01:佐藤
02:鈴木
03:田中

3　番号が見つかったら、受話器をあげる

● 表示されている電話帳の内容で発信します。

00355551234
鈴木
通話中　10:00
11/11/Sun　11:21

4　お話しが終わったら、受話器を置く

● 通話時間を6秒間表示し、カレンダー/時計表示に戻ります。

15:00
11/11/Sun　11:26

補　足

◇電話帳一覧表示は50音順でソート表示されており、ダイヤルキーを使って頭だし検索を行うことができます。
◇対象電話情報選択について、下移動キー押下で順方向、上移動キー押下で逆方向へ電話帳データがスクロールします。
◇操作手順2で［決定］ボタンを押すと、詳細が表示されます。

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

３．３．１．８　リダイヤルを使用して発信する

▼操作手順

1 受話器をあげる

● 「ツー」という発信音を確認してください。

```
11/11 Sun        11:11
```

2［リダイヤル］ボタンを押す

最後にダイヤルした番号に発信します。

```
00334567890

通話中           10:00
11/11 Sun        11:21
```

3　お話しが終わったら、受話器を置く

● 通話時間を6秒間表示し、カレンダー/時計表示に戻ります

```
                 15:00
11/11 Sun        11:26
```

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

３．３．２　電話の受け方

３．３．２．１　通常受信（オフフック応答）

▼操作手順

1　着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

● 電話帳に登録されている番号の場合、
または、PBXから名称が通知された場合は、
名前が表示されます。

```
0333335555

着信
11/11 Sun          11:11
```

2　受話器をあげて、お話しをする

※グループ番号に着信の場合は、着信中のボタンを押して応答します。

```
0333335555

通話中             10:00
11/11 Sun          11:21
```

3　お話しが終わったら、受話器を置く

● 通話時間を6秒間表示し、カレンダー/時計表示に戻ります。

```
                   15:00
11/11 Sun          11:26
```

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

３．３．２．２　スピーカホン受信（オフフック応答）

▼操作手順

1　着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

- 電話帳に登録されている番号の場合、
  または、PBXから名称が通知された場合は、
  名前が表示されます。

```
0333335555

着信
11/11 Sun          11:11
```

2　着信中のボタンを押す

- スピーカランプが点灯します。
- マイクランプが点灯します。
- スピーカとマイクで通話ができます。

```
0333335555

通話中              01:00
11/11 Sun           11:12
```

3　受話器をあげて、お話しをする

- スピーカランプが消灯します。
- マイクランプが点灯します。

```
0333335555

通話中              10:00
11/11 Sun           11:21
```

4　お話しが終わったら、受話器を置く

- 通話時間を6秒間表示し、カレンダー/時計表示に戻ります。

```
                    15:00
11/11 Sun           11:26
```

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

３．３．３　保留の仕方

相手とのお話しを保留することができます。

▼操作手順

1　相手の方とお話しをしているときに、

［保留］ボタンを押す

- 相手の方に保留音が流れます。
- 通話中のボタンが緑点滅になります。

0334567890

保留　　3:33

11/11 Sun　　11:11

2　受話器を置く

3　緑点滅の保留中のボタンを押し、受話器をあげて保留中の方とお話しをする

- 相手の方の保留音が停止します。

0334567890

通話中　　4:00

11/11 Sun　　11:12

4　お話しが終わったら、受話器を置く

- 通話時間を6秒間表示し、カレンダー/時計表示に戻ります。

5:00

11/11 Sun　　11:13

補　足

◇保留中に相手の方が電話を切った場合には、保留は解除され、受話器からビジー音が聞こえます。

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

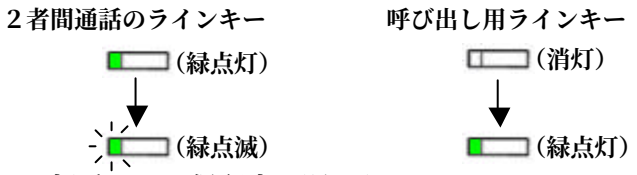
３．３．４　転送の仕方

▼操作手順

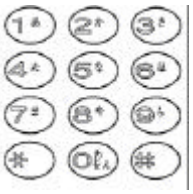
1 通話中に［転送］ボタンを押す。

11/11 Sun　11:12

●２者間通話のラインキーは緑点滅、呼び出し用ラインキーは緑点灯状態。



●相手には、保留音が聞こえます。



2 受話器よりツーツー音が返ってきたら、転送先の番号を押す。

1234 11/11 Sun　11:12

3 転送先が応答したら、受話器を置く。

1234 通話中　00:10 11/11/Sun　11:12

4 転送が完了し、空き状態に戻る

5963 11/11 Sun　11:11

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

３．３．５　会議／ドロップの仕方

＜会議の仕方＞

▼操作手順

1 通話中、［会議］ボタンを押す。

●２者間通話のラインキーは緑点滅、呼び出し用ラインキーは緑点灯状態。

２者間通話のラインキー　　呼び出し用ラインキー

（緑点灯）　　（消灯）

↓　　↓

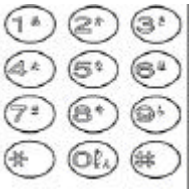
（緑点滅）　　（緑点灯）

●相手には、保留音が聞こえます。

00334567890

通話中　　4:00

11/11/Sun　　11:12



2 受話器よりツーツー音が返ってきたら、会議に参加させる相手の番号を押す。

1234

11/11 Sun　　11:12

3 相手が応答したら、再び［会議］ボタンを押す。

●３者の会議状態になります

●他の会議参加者の数が表示されます。

●最初の２者間通話のラインキーは緑点滅から消灯になります。

会議 2

通話中　　1:15

11/11 Sun　　11:12

２者間通話のラインキー　　呼び出し用ラインキー

（点滅）　　（点灯）

↓　　↓

（消灯）　　（点灯）

補　足

◇　同様の操作で、６者までの会議ができます。

◇　３者以上での会議通話中に、会議招集操作を行った場合、残りの電話機間での会議通話は継続します。

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

＜会議ドロップの仕方＞

▼操作手順

1 会議通話中、会議主催者が［ドロップ］ボタンを押す。

2 最後に会議に参加した電話機が切断されます。

補　足

◇ 会議通話退席者の電話機はビジー音が聞こえます。
◇ 会議ドロップ操作は会議主催者しかできません。
会議主催者以外の方が操作されても操作無効となります。
◇ ＤＲＯＰ操作により２者での通話となった時点で会議通話はキャンセルされ、その後のＤＲＯＰ操作での通話切断は行われません。

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

３．３．２　その他特殊機能

３．３．６．１　自動転送の設定／解除

▼操作手順

1 受話器を置いた状態にします。

2 ［自動転送］ボタンを押す。

[自動転送]ボタンが緑点灯に変わります。
その後の着信呼は、予め設定した番号へ転送されます。

3 自動転送を解除する場合は、再度［自動転送］ボタンを押す。

[自動転送]ボタンが消灯します。

補　足

◇ ソフトメニューキーに自動転送を割り当てた場合は
［メニュー］の中のSend all callで設定してください。

設定方法

メニュー/決定 →「3:機能キー」→「Send all call」→1:有効

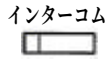
© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

３．３．６．２　音声呼出

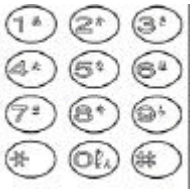
発信側から音声で相手を呼び出すことが出来ます。

▼操作手順

【ダイヤルインターコム】



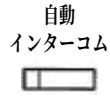
1 ［インターコム］キーを押す。



2 呼び出したい相手の登録番号をダイヤルする。

3 相手が自動応答し、直接音声で呼び出すことができます。

【自動インターコム】



1 オフフックの状態で［自動インターコム］キーを押す。

予め指定された相手を音声で呼び出すことができます。

2 相手が自動応答し、直接音声で呼び出すことができます。

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

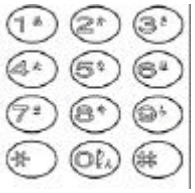
３．３．６．３　ウィスパーページ（秘書機能）

通話中のＶＩＰ電話機に対して秘書電話機から割り込み通話を行うことができます。

▼操作手順

1 秘書の電話機上の[ウィスパーページ]ボタンを押す。

```
11/11/Sun        11:11
```



2 通話中の VIP 電話機の内線番号を押す。

```
50001
```

3 VIP 電話機の通話に割り込みます。

```
50001

11/11/Sun        11:11
```

- ●VIP 電話機には、プー音が聞こえた後、秘書の声が聞こえます。
- ●VIP と相手の通話は継続します。
- ●秘書の声は、VIP の通話相手には聞こえません。
- ●秘書には、VIP の声と相手の声は聞こえません。

4 お話しが終わったら、受話器を置く

- ●カレンダー/時計表示に戻ります。

```
                      1234

11/11 Sun        11:26
```

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

３．３．６．４　不在転送の設定／解除

▼操作手順

1 受話器を置いた状態にします。

2 ［不在転送］ボタンを押す。

転送先の電話番号を登録すると　[不在転送]ボタンが緑点灯に変わります。
その後の着信呼は、登録した電話番号へ転送されます。

3 不在転送を解除する場合は、再度［不在転送］ボタンを押す。

[不在転送]ボタンが消灯します。

補　足

◇　ソフトメニューキーに不在転送を割り当てる場合は
［メニュー］の中のCall Forwardで設定して下さい。

設定方法
メニュー決定→「3:機能キー」→「Call Forward」→1:有効

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

３．３．６．５　メッセージウェイティング

呼出中の相手内線が無応答のとき、着信先のＳＩＰビジネスフォンに付属するランプを点
灯させメッセージがあることを表示できます。

メッセージウェイティング機能には
- ・メッセージランプ（着信ランプ）でメッセージの有無を表示する機能
- ・オートメッセージウェイティングキーで指定された電話機へのメッセージ有無を表示する機能

があります。

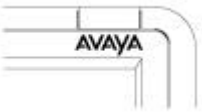
▼操作手順

1 メッセージ聴取用内線に発信します

2 ボイスメール装置の案内にしたがって録音されたメッセージを確認します。

着信ランプの表示

メッセージが無い場合



メッセージが有る場合

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

３．３．６．６　代理応答

グループ内着信に対して代理応答が出来ます。

▼操作手順

【コールピックアップ】

1 グループ内の電話機に着信音が鳴り、着信ランプが点滅する。

コールピックアップ

2 ［コールピックアップ］キーを押す。

グループ内着信に対して代理応答することができます。

3 発信電話機には代理応答であることを表示する。

```
1234
名前
通話中          00:10
代理応答
```

補　足

◇ ソフトメニューキーに代理応答を割り当てた場合は
［メニュー］の中のCall Pickupで設定してください。

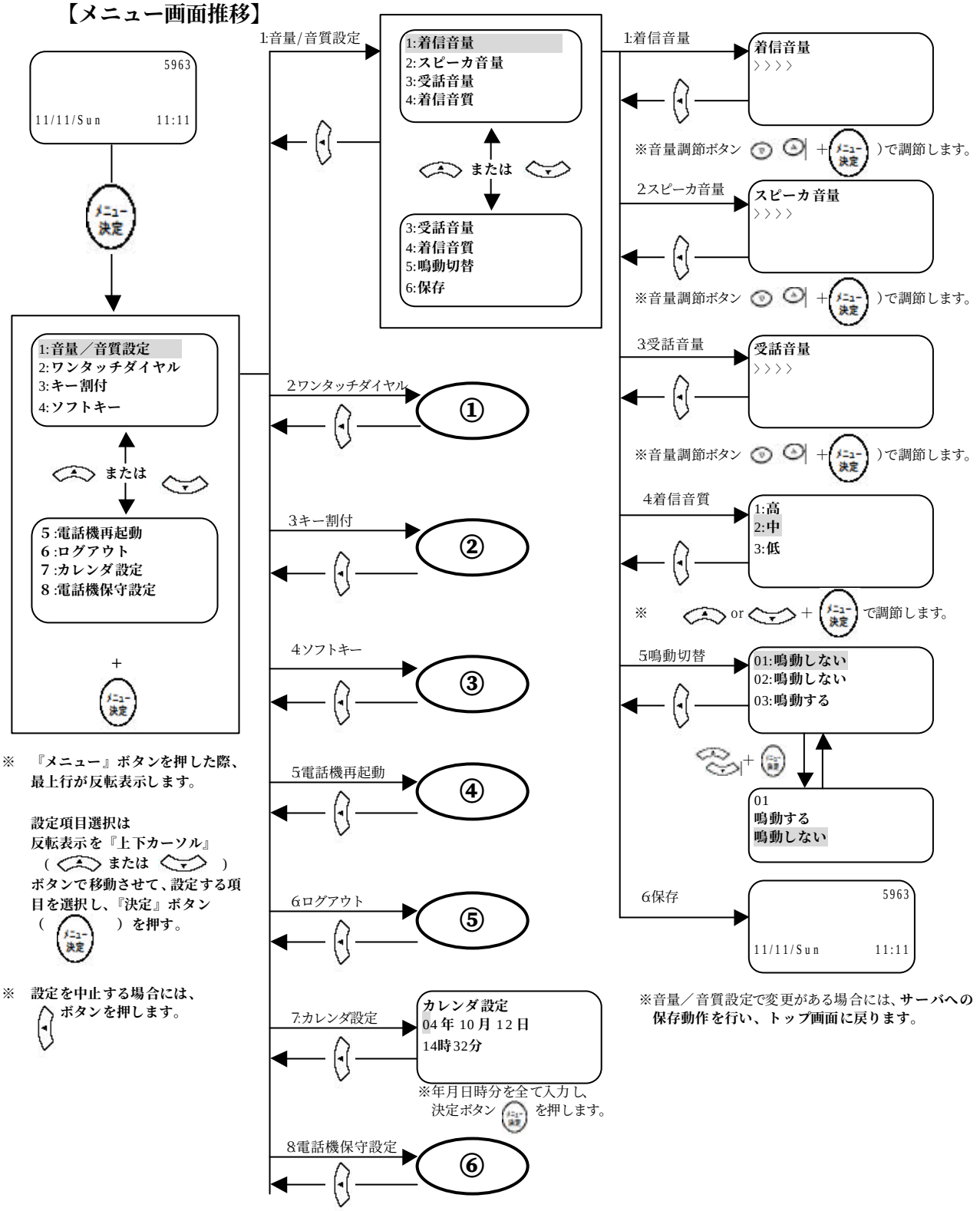
設定方法

メニュー決定→「3:機能キー」→「Call Pickup」

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

3．3．6．7　メニュー機能

【メニュー画面推移】

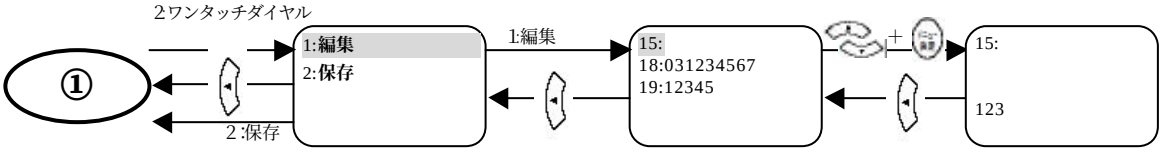


※　『メニュー』ボタンを押した際、最上行が反転表示します。

設定項目選択は
反転表示を『上下カーソル』
（ または ）
ボタンで移動させて、設定する項目を選択し、『決定』ボタン
（ メニュー決定 ）を押す。

※　設定を中止する場合には、
ボタンを押します。

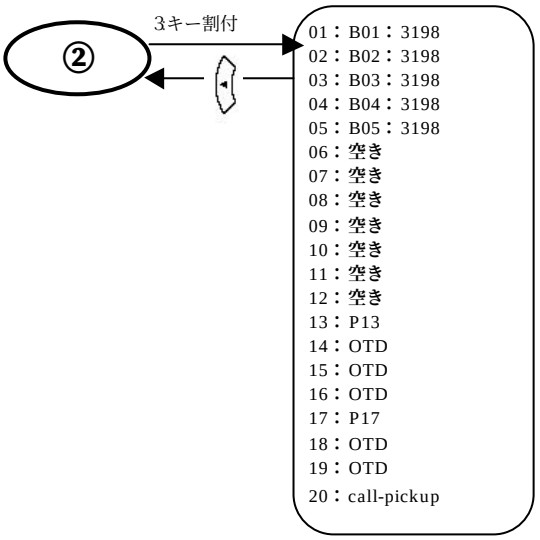
© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.



※ワンタッチダイヤル内容に変更がある場合には、**サーバへの保存動作を行い、メニュートップに戻ります。**

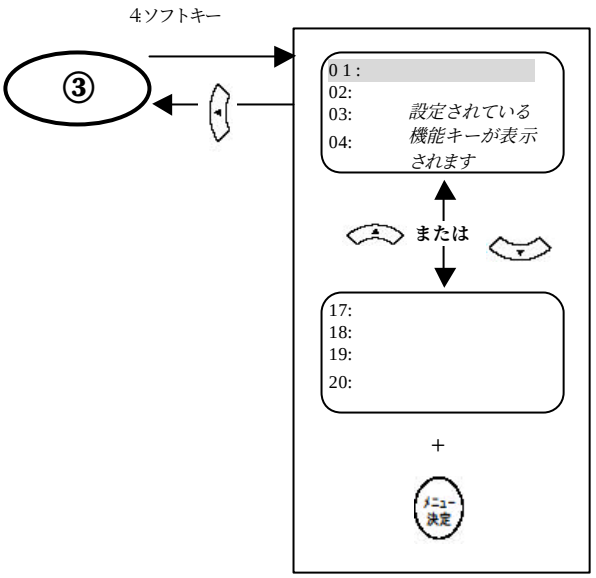
※ワンタッチキーが割り当てられているボタンの一覧が表示されます。

※設定ダイヤルを入力し、決定ボタン を押します。



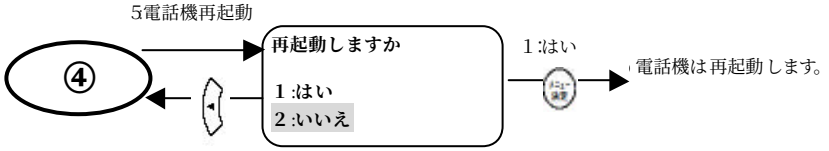
キーに割り当てられている番号、機能を表示します。

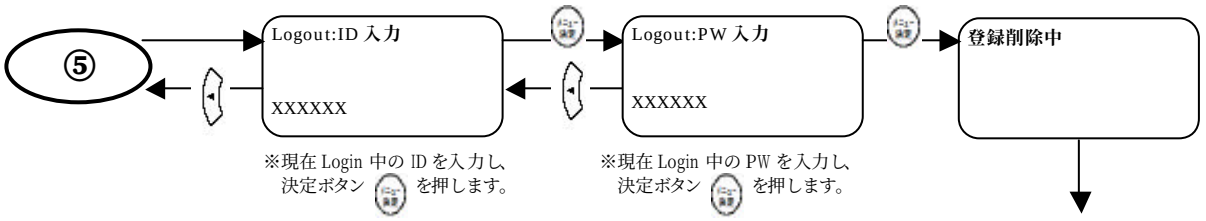
空き　：割り当てなし
B01　：ブリッジ番号
P01　：プライム番号
OTD　：ワンタッチダイヤル
call-forwading-a　：不在転送
auto-callback　：自動呼び返し
whisper-page　：ウィスパーページ
call-pickup-direc　：代理応答（内線指定）
call-pickup　：代理応答（グループ）
sac　：自動転送
AMW　：メッセージウェイティング



※サーバの設定により、表示内容が変わります。

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

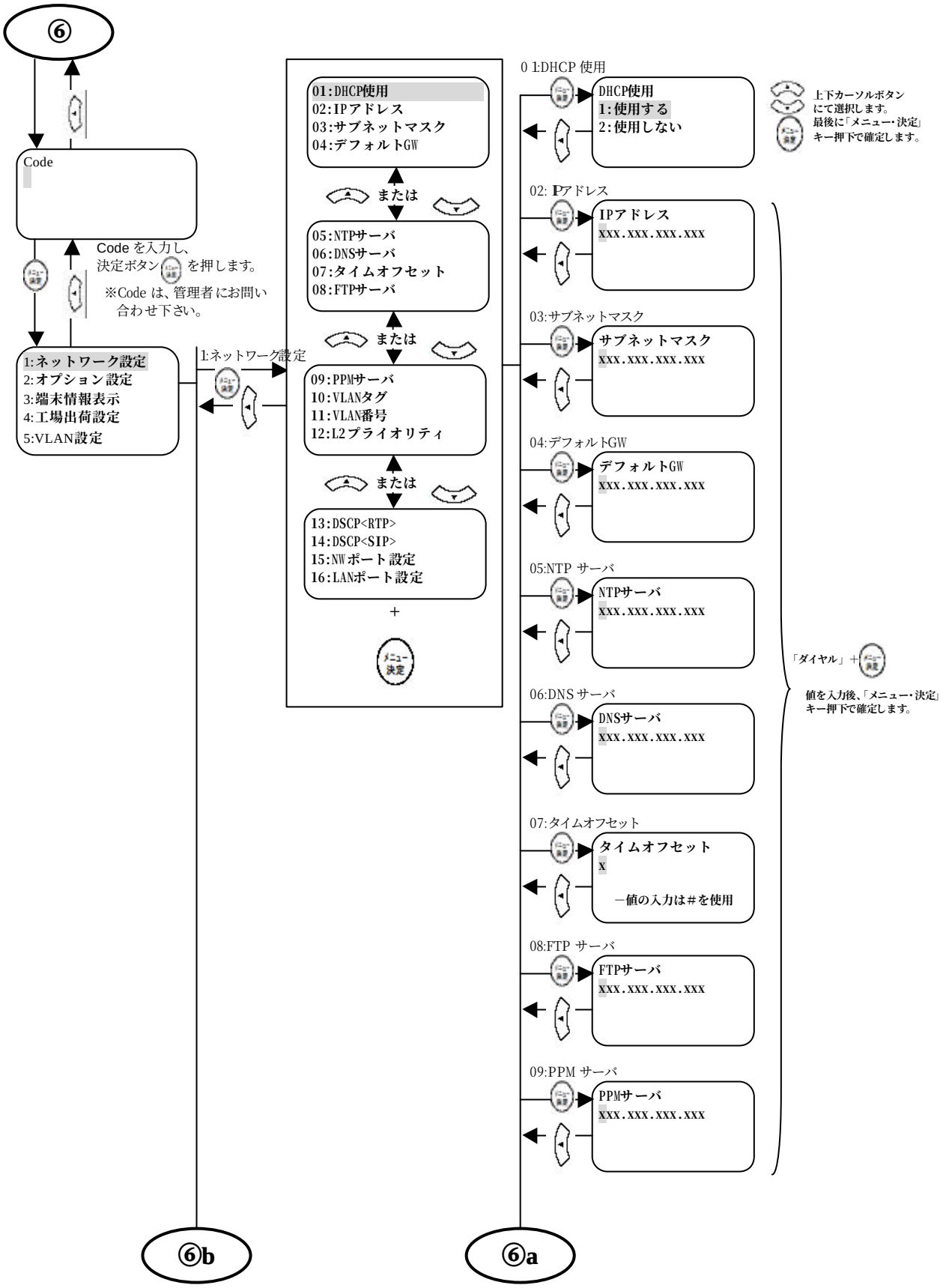




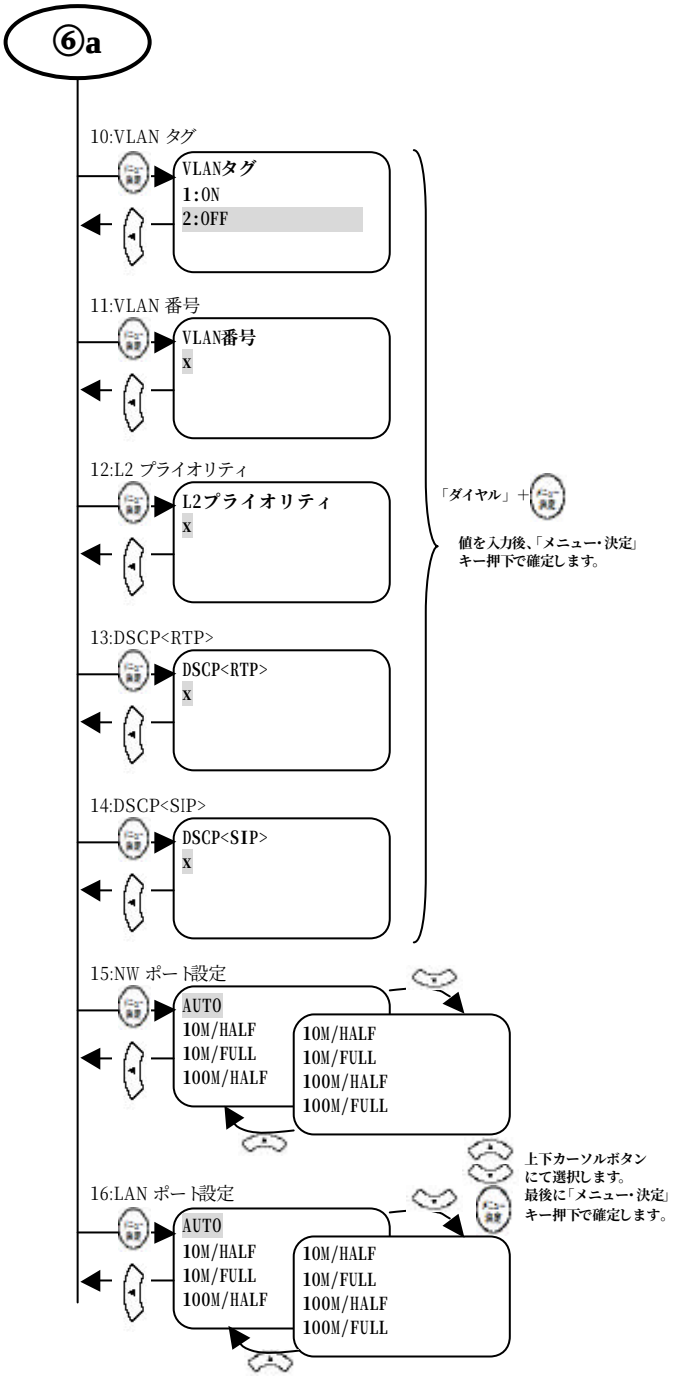
ログアウト状態の画面表示。

※ 再度 Login する場合は、この画面から ID／PW を入力します。

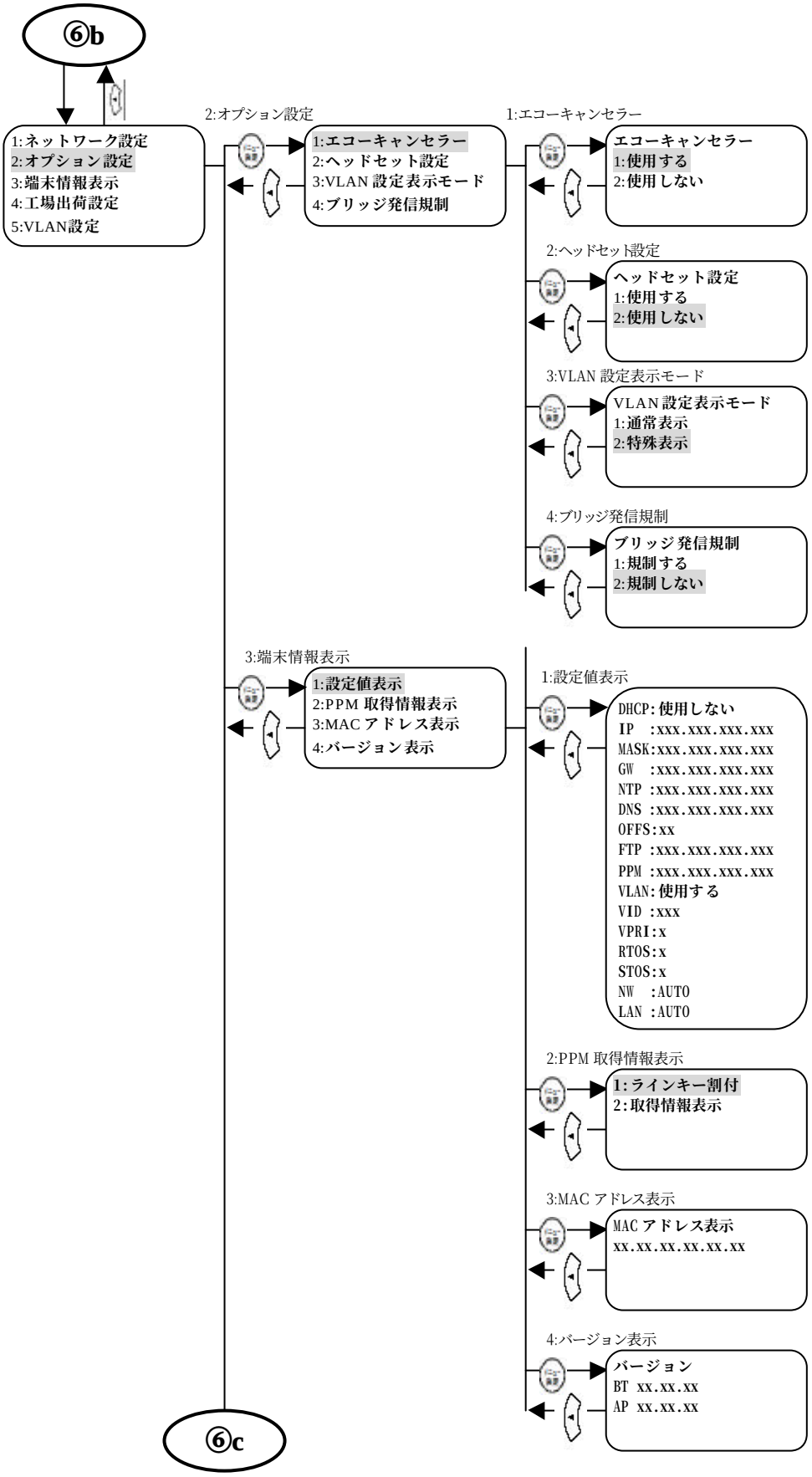
© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.



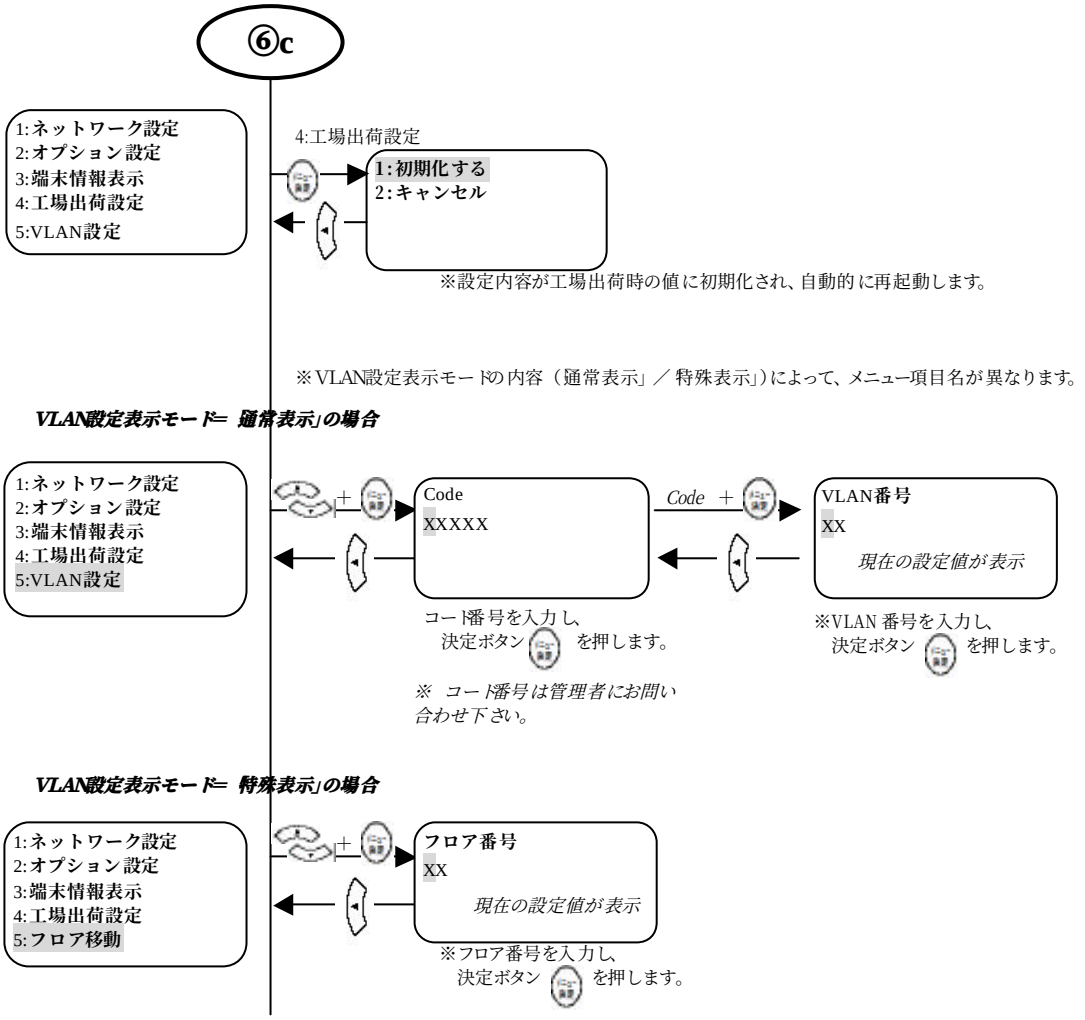
© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.



© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.



© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.



© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

４．困った時は

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

４．１　ＬＣＤに表示されるエラー

使用状態	ＬＣＤ表示	エラー内容	処置
電源投入時	ERR01 DHCP エラー	IP アドレスが取得できません	・DHCPサーバが正常動作しているか確認してください。 ・DHCPサーバおよびＳＩＰビジネスフォンの設定内容が正しいか確認してください。 ・LANケーブルが抜けていないか確認してください。
	ERR02 DNS エラー	名前解決ができません	・DNSサーバが正常動作しているか確認してください。 ・DNSサーバおよびＳＩＰビジネスフォンの設定内容が正しいか確認してください。 ・LANケーブルが抜けていないか確認してください。
	ERR04 登録失敗	SIP サーバに登録できません	・SIPサーバが正常動作しているか確認してください。 ・SIPサーバおよびＳＩＰビジネスフォンの設定内容が正しいか確認してください。 ・LANケーブルが抜けていないか確認してください。
	ERR05 認証失敗	SIP サーバで認証できません	・SIPサーバが正常動作しているか確認してください。 ・SIPサーバおよびＳＩＰビジネスフォンの設定内容が正しいか確認してください。 ・LANケーブルが抜けていないか確認してください。
	ERR06 保存失敗	設定データが保存できませんでした	もう一度設定データの保存操作を行ってください。
	ERR07 PPM 認証失敗	PPM サーバで認証できません	・PPMサーバが正常動作しているか確認してください。 ・PPMサーバおよびＳＩＰビジネスフォンの設定内容が正しいか確認してください。 ・LANケーブルが抜けていないか確認してください。
	ERR08 PPM エラー	PPM サーバとの通信でエラーが発生しました。	・PPMサーバが正常動作しているか確認してください。 ・PPMサーバおよびＳＩＰビジネスフォンの設定内容が正しいか確認してください。 ・LANケーブルが抜けていないか確認してください。
	ERR09 FTP エラー	プログラムのダウンロードに失敗しました	・FTPサーバが正常動作しているか確認してください。 ・FTPサーバおよびＳＩＰビジネスフォンの設定内容が正しいか確認してください。 ・LAN ケーブルが抜けていないか確認してください。
	ERR10 多重登録	同一 ID の電話機を検出しました。	・SIPサーバおよびＳＩＰビジネスフォンの設定内容が正しいか確認してください。

※処置をしてもエラーが表示される場合は、お買い求めになった販売店に問い合わせください。

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

４．２　こんな時は

故障の状態	原　因	処　置
「発信／着信」ができない	・SIP サーバが正常動作していない	・SIP サーバを確認してください
	・LAN ケーブルが抜けている	・LAN ケーブルを確認してください
	・ネットワーク設定が間違っている	・ネットワーク設定を確認してください

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

5．付録

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

５．１　装置仕様

ハードウェア仕様一覧

回線	接続インターフェイス	10BASE－T／100BASE－TX
	ポート数	2ポート（スイッチングHUB）
	伝送速度	10／100Mbps
	プロトコル仕様	SIP(RFC3261準拠)、TCP、UDP、RTP
	音声圧縮方式	G.729A、G.711（μLaw）
サービス機能	電話機能	マニュアル発信 ワンタッチダイヤル リダイヤル発信 電話帳発信（電話情報は最大100件保持） 発信履歴発信（発信履歴情報は最大20件保持） 着信履歴発信（着信履歴情報は最大20件保持） 保留 不在転送 自動転送 代理応答 DTMF信号送出 会議（最大６者間）／会議ＤＲＯＰ
	プログラム更新	FTP
使用電源		AC100V±10%　50／60Hz DC48V（LAN給電　IEEE802.3af準拠）
時計機能		月差：±60秒　バックアップ時間：約1日
消費電力		10VA（最大）
外形寸法		本体：約W180×D225×H99 電源アダプタ：約W52×D25.5×H65
重量		本体：約900g 電源アダプタ：約120g
ケース材質		ABS
使用条件		温度0～40℃　湿度45～85%RH（結露しないこと）

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.

SIP ビジネスフォン ＳＰ－１０２０Ａ 取扱説明書

発行　　２００５年6月　第1版

発行者　日本アバイア株式会社

〒156-0055　東京都港区赤坂 2-17-7 赤坂溜池タワー

お客様フリーダイヤル　０１２０－２２３－９１１

ＵＲＬ　http://www.avaya.co.jp

本取扱説明書は、下記アバイアサポートサイトからダウンロードして頂くことが可能です。

ＵＲＬ　http://www.avaya.com/support

© 2005 Avaya Inc. All rights reserved.